

平成27年度第2回岡山市総合教育会議

日 時：平成27年6月12日（金）

午後1時～

場 所：市庁舎 第3会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

(1) 資料説明

岡山市の教育の現状と課題を踏まえた教育委員会の取組について
わが国の教育の方向性と岡山市の状況について

(2) 意見交換

3 閉 会

岡山市の教育の現状と課題を踏まえた教育委員会の取組

学力向上への取組

<H21年度ごろの状況>

※ここでは読解力・表現力に絞って示した。その他の学力も同様である。

学年	読解力	表現力
小学生	99.5	99.3
中学生	99.5	99.5
高等学校	99.5	99.5

これまでの取組

- ・中学校区で就学前教育、小学校、中学校の連携を強化(岡山型一貫教育の推進)
 - 校種の違う教員同士が、教育観や指導観を共有し指導に当たる。
 - ・家庭学習事例集の作成 → 家庭学習の定着化を図る。
- ・習熟度別サポート事業
 - ・小学校で10人未満の小さな集団による個の課題に対応した指導
- ・岡山つ子スタート・サポート事業
 - ・小学校1年生が小学校生活の円滑なスタートを切れるよう支援
 - 一人一人を大切にした指導の充実により、学習規律の定着を図るとともに、学習意欲を高める。

<現在の状況>

※読解力・表現力の定着については、改善できていない。

○家庭学習の状況については改善傾向にあるが、国レベルよりは低い。

○自分の学習計画を立てて勉強している生徒の割合

学年	割合
小学生	45.5%
中学生	39.9%
高校生	35.3%

※授業改善を進める取組が不十分であった。

※家庭学習事例集の活用が不十分であった。

方向性

- ☆ 教員の授業力の向上
- ☆ 岡山型一貫教育のさらなる推進
- ☆ 家庭学習のさらなる定着化の推進

具体的な取組

- 『岡山つ子』学力向上推進事業
 - 「岡山つ子」学力向上推進チーム1の新設
 - * 全国学力・学習状況調査の分析を基にした授業改善の推進
 - * 各中学校区の岡山型一貫教育推進をコーディネート授業これだけは!!
 - 「めあて」の提示「考え・表現」する場面の設定「振り返り」のある授業づくりを徹底し、子どもの読解力・表現力の向上を目指す。
 - ますかつプリント
 - 岡山市の教員作成の算数のプリントを小学校全校で実施し、調査の分析等を授業改善に生かす。
 - 指導教諭の活躍
 - 指導力の高い教師が授業づくりの支援を行う。
 - 好事例に学ぶ
 - 教諭、指導主事を他県に派遣し、好取組を市内に広める。
- <家庭学習の充実>
 - 家庭学習事例集の活用
 - 教員研修の実施と保護者啓発を行う。
 - スマホ等の使用のルールづくり
 - 学校、保護者、児童生徒が話し合っってルール作りをする。

子どもと向き合う時間の確保

教職員の負担軽減

H18年度の文部科学省調査

S41年度調査に比べ、時間外勤務が月平均26時間増加している。特に、生徒指導や事務的な業務の時間が増えている。

これまでの取組

- ・各種支援員の配置
- ・教育委員会からの発出文書の削減 など

<現在の状況>

教職員の負担感

「子どもと向き合う時間が不足」85.7%

「勤務時間終了後も残って仕事をすることが多い」91.8%

(教職員勤務負担の状況に関する調査(19年岡山県教育委員会事務局))

※一定の成果は見られたが、十分に負担感を取り除くことができていない。

方向性

さらなる支援により、教職員の子どもと向き合う時間の確保に努め、教材研究や生徒指導の充実につなげていく。

具体的な取組

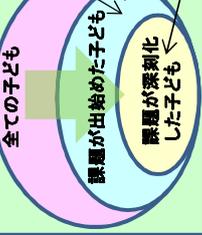
- ・学校業務アシスト事業
- ・教員が行っている業務(事務処理等)の一部をアシスト職員が行う。
- ・部活動サポート事業
- ・外部指導者を派遣することで、部活動顧問の教職員の負担を軽減する。

<H21年度ごろの状況>

○児童生徒の暴力行為の発生率、不登校の出現率は、小学校、中学校ともに75%前後であり、国の平均を下回っている。

○いじめの解消率は、小学校、中学校ともに75%前後であり、国の平均を下回っている。

学校問題の未然防止・早期解決



これまでの取組

- ・不登校児童生徒支援員配置事業
 - ・不登校の兆候が見られる子どもにも、登校時の付添いや別室登校等の支援を行う。
- ・スクールカウンセラー配置事業(中)
 - ・「心の専門家」である臨床心理士等を中学校に配置する。
- ・深刻化防止
 - ・教育相談及び不登校児童生徒の学校復帰、社会的自立を目指した支援を行う。
- ・教育相談室・適応指導教室運営事業

<現在の状況>

○主に中学校で取組の成果が現れてきているが、不登校は、小学校、中学校ともに出現率が上昇している。

・児童生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数(H25)

学年	発生件数
小学生	3.18件(0.4件増加)
中学生	29.8件(1.1件減少)

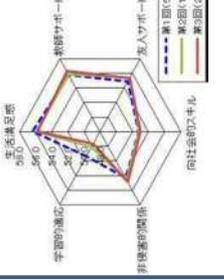
・いじめの解消率(H25)

学年	解消率
小学生	81.3%(6.6ポイント上昇)
中学生	92.8%(16.9ポイント上昇)

・不登校の出現率(H25)

学年	出現率
小学生	0.47%(0.03ポイント上昇)
中学生	3.06%(0.19ポイント上昇)

<比較対象はH21>

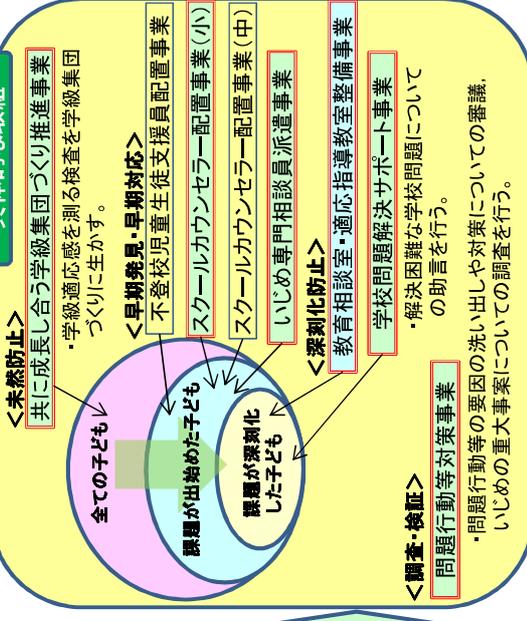


※課題が始めてから、深刻化してからの支援に関する事業が中心であった。

方向性

- ☆ 生活の基礎である集団の改善
 - ☆ 課題の小ささからの支援の充実
 - ☆ 深刻化を防ぐ体制の整備
 - ☆ 事業や課題の検証
- 課題の根本的な解決

具体的な取組



子どもと向き合う時間の確保

平成27年6月12日
岡山市総合教育会議

わが国の教育の方向性と 岡山市の状況

株式会社ベネッセコーポレーション

1. 今後の教育の方向性

世界の教育の潮流, 国の教育政策の方向性を共有します。

2. 問題行動と学校の取り組み

岡山市の児童・生徒の問題行動の状況を確認し, 問題行動を減らしていく学校の取り組みを, データと事例から探ります。

3. 学力向上のために

全国学力・学習状況調査から見える岡山市の課題を確認し, 学力向上のための自治体の取り組み事例をご紹介します。

4. 教員の負担

教員を取り巻く環境, 岡山市の教員の状況等を確認します。

今後の教育の方向性

子どもたちは未来からの留学生

どのような時代になっても、大きな変化の波の中で生きていくことができるような教育を！

	2000	2020	2040	2060	2080	2100
政治・経済情勢	日本の出生数、百万割れ	アジアの時代	アジアの人口ピークに 日本の出生数50万割れ 日本の人口1億割れ 日本のGDP 8位に後退	日本の高齢化率 40%超	アフリカの時代？	日本の人口4200万 世界人口100億
科学技術		火星有人飛行	人工知能が人間を超える			
		Vs.グローバル人材		Vs.コンピュータ		
成育歴	幼小中-高	大 22卒	就業	65定	高1生	=2100年で101歳
	幼小中-高	大 25卒	就業	68定	中1生	=2100年で98歳
	幼小中-高	大 31卒	就業	74定	小1生	=2100年で92歳

Keywords:
学習到達度, 個別対応,
コンテンツ細分化,
アダプティブ, 格差解消

「履修の評価」
から
「修得の評価」へ

主体性をもって,
多様な人々と協力して学び,
働くことのできる力の育成

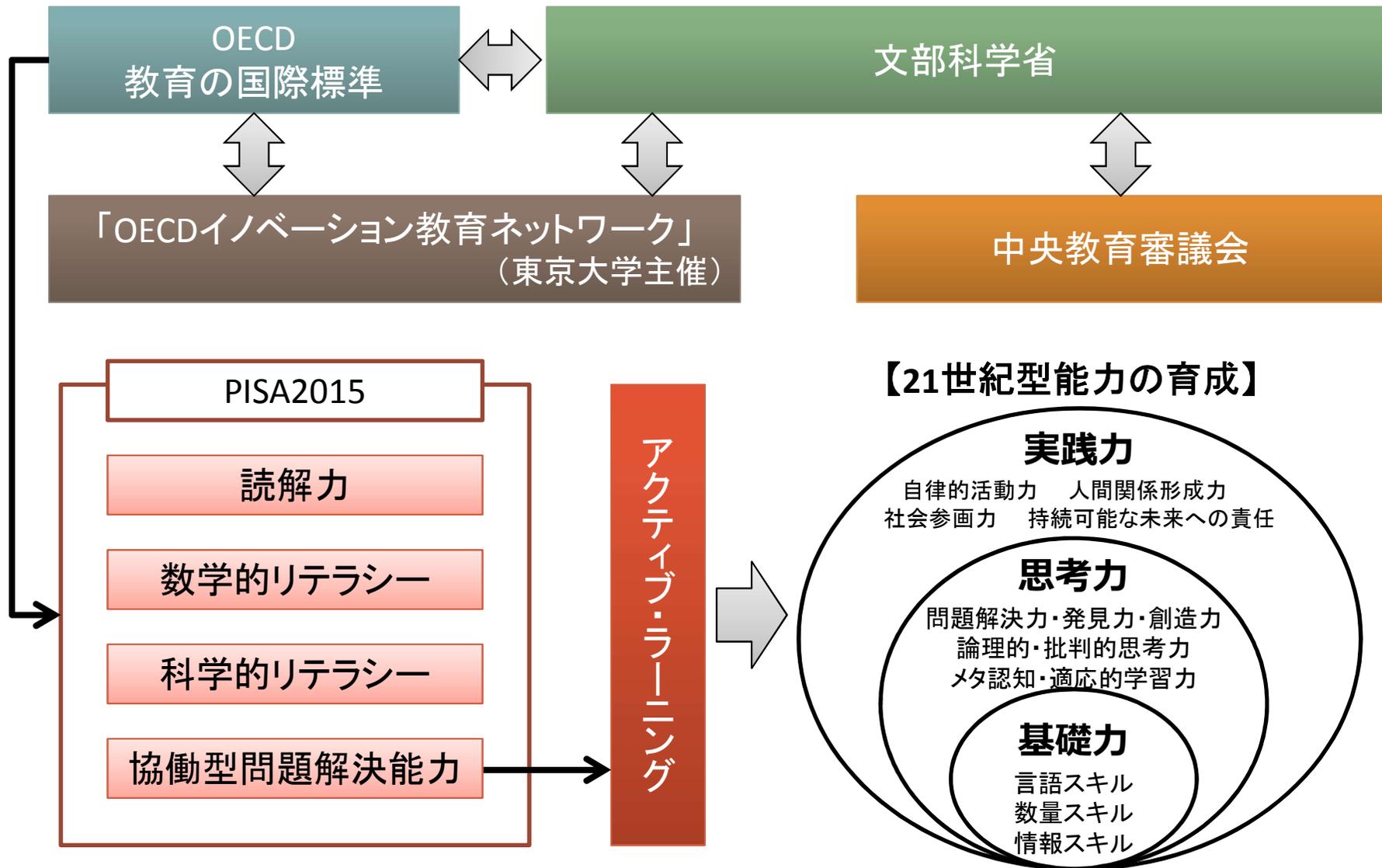
「知識・理解」
から
「活用・創造」へ

Keywords:
AI革命, 深い学び,
知識習得の効率化,
メタ認知, 多様性

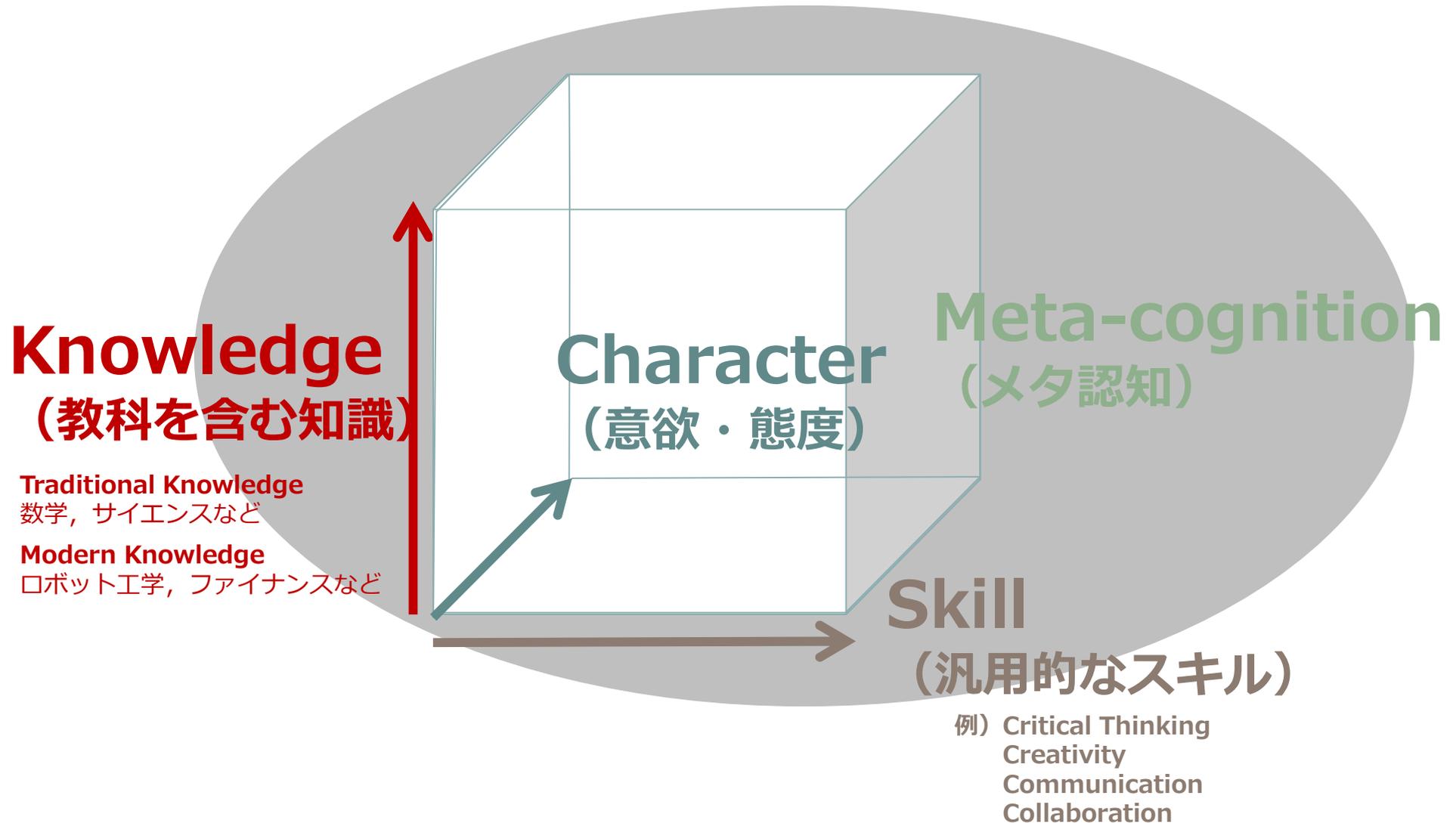
「一方通行授業」
から
「双方向授業」へ

Keywords:
プロジェクト, 試行錯誤,
チーム学習, シェア,
振り返り, 教科-総合連携

OECDと連携しながら、教育の国際標準を志向した検討がなされており、21世紀型能力の育成をどのような教育課程や手法で育成していくのかが検討されています。



OECD「Education2030」が採用。中教審資料にも掲載
このフレームをふまえ、キーコンピテンシー2.0を議論。



3大 協働型問題解決能力



	(1) 共通理解の確立と維持	(2) 問題解決のための適切な行動	(3) チーム編成の確立と維持
A 探索と理解	A1 チームメンバーの相対関係と能力	A2 ゴールに向けて問題解決のための協調的相互作用のタイプの発見	A3 問題解決のための役割理解
B 表現と定式化	B1 表現共有の構築と問題の意味の交渉(共通背景)	B2 完成するタスクの識別と記述	B3 役割とチーム組織の説明(コミュニケーション手順/関与ルール)
C 企画と実行	C1 成果を出すために取るべき行動についてチームメンバーとコミュニケーション	C2 計画の制定	C3 関与ルールに従う(例えば、他のチームメンバーを仕事をさせるために鼓舞する)
D 監視と内省	D1 監視と理解共有の修正	D2 行動の監視結果と問題解決成功の評価	D3 監視, フィードバック, チーム編成と役割りに適合

■ 参加大学から活動報告を探す

 YNU 横浜国立大学 YOKOHAMA National University 横浜国立大学	 上智大学 SOPHIA UNIVERSITY 上智大学	 青山学院大学 AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY 青山学院大学
ト ⊕ エバラ食品工業 ↳ ⊕ ベネッセ	ト ⊕ 資生堂 ↳ ⊕ 東芝	ト ⊕ 凸版印刷 ↳ ⊕ 野村証券
 東京薬科大学 東京薬科大学	 法政大学 法政大学	 明治大学 MEIJI UNIVERSITY 明治大学
ト ⊕ アステラス製薬 ↳ ⊕ ベネッセ	ト ⊕ 資生堂 ↳ ⊕ 東レ	ト ⊕ サントリー ↳ ⊕ 日本オラクル
 中央大学 CHUO UNIVERSITY 中央大学		
ト ⊕ サントリー ト ⊕ オリエンタルランド ト ⊕ キッコーマン ↳ ⊕ JAXA		

㈱ベネッセ
コーポレーション

ベネッセは東南アジア展開を検討しており、あなたは社内から集められた検討メンバーの一人です。インドネシアに進出するにあたり、どんな事業をどんな手法で展開するかを経営幹部にプレゼンしなさい。

1) 授業の基礎的な流れ (典型的な授業の進行パターン)

教材提示	個人ワーク	ペア・グループワーク	全体発表	解説・まとめ	学習記録
黒板・電子黒板で今日の学習を確認	タブレットを使って自分で考える	友だちと考えを話し合って交換	電子黒板で共有。見せながら発表	黒板で学習全体のまとめ	学習の振り返りと記録

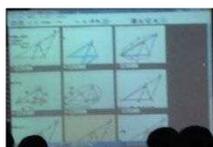
2) 効果的な活用シーンの焦点化

①理解の促進・効率化



日常生活から授業の狙いに関連する写真を示す
 シミュレーションで規則性を見出す

②思考の深化・共有



③協働学習で思考を深化

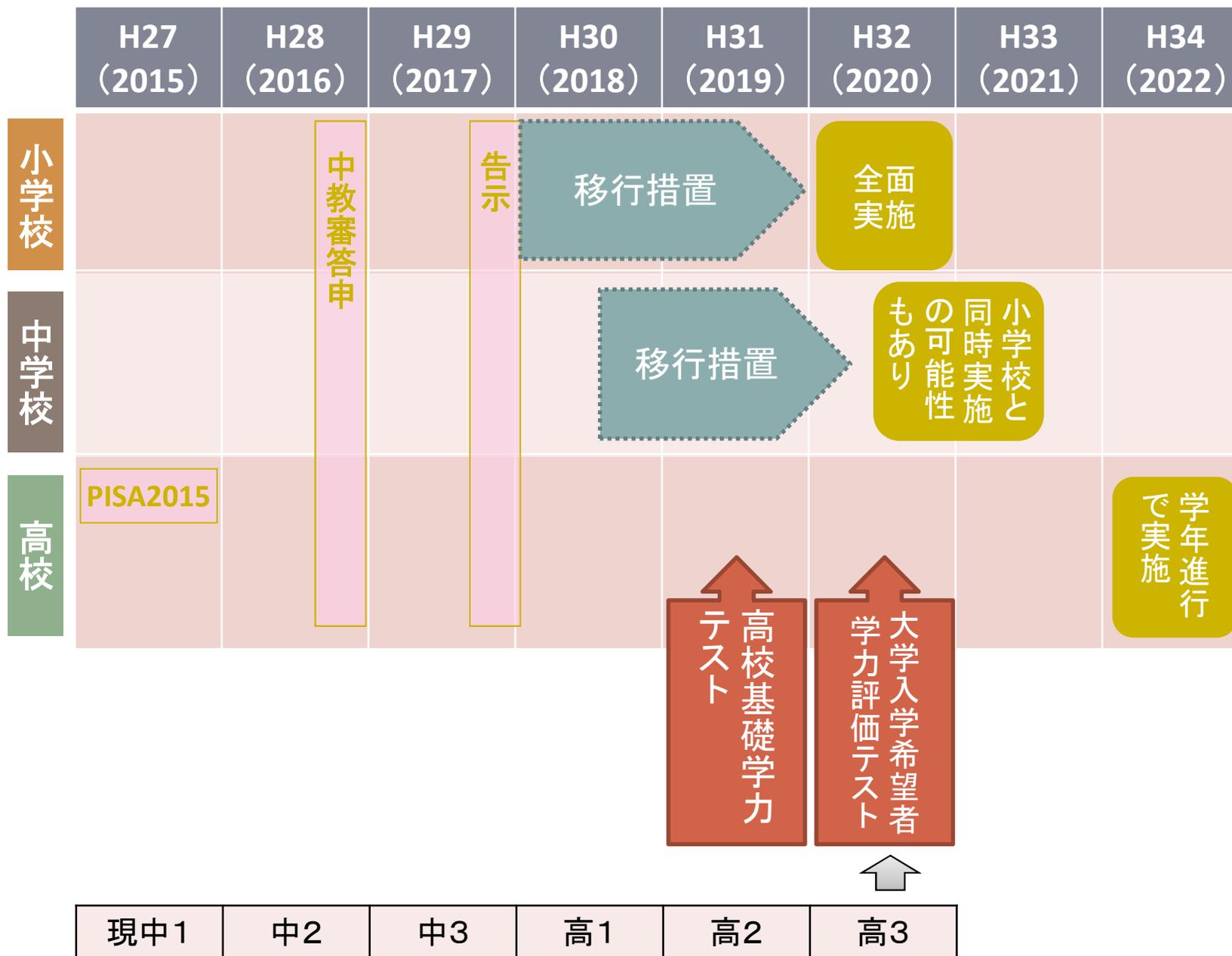


役割分担して、班で協働してアウトプットする

3) 授業形態に応じたICT機器の活用

	Good	Bad
一斉授業	<ul style="list-style-type: none"> 写真や動画わかりやすい 楽しい 考えが深まる 	<ul style="list-style-type: none"> 授業準備の大変さ
協働学習	<ul style="list-style-type: none"> みんなの考えの交流や共有ができる 表現の機会が増える。表現することの心理的ハードルが下がる 	<ul style="list-style-type: none"> 使い方が限定的 課題の選択や時間配分など、教師の力量に左右される

教育制度に関するスケジュール



高校教育の質の確保

高校基礎学力テスト(仮称) 2019～	
目的	生徒自らが、学習達成度を把握できるようにする 高校の指導改善, AO入試等で参考資料として活用
内容	「国語総合」「数学Ⅰ」「世界史」「現代社会」「物理基礎」「コミュニケーション英語Ⅰ」等の高校の必修科目を想定(選択受検も可能)

就職・AO入試・専門学校進学で活用可

大学入学者選抜

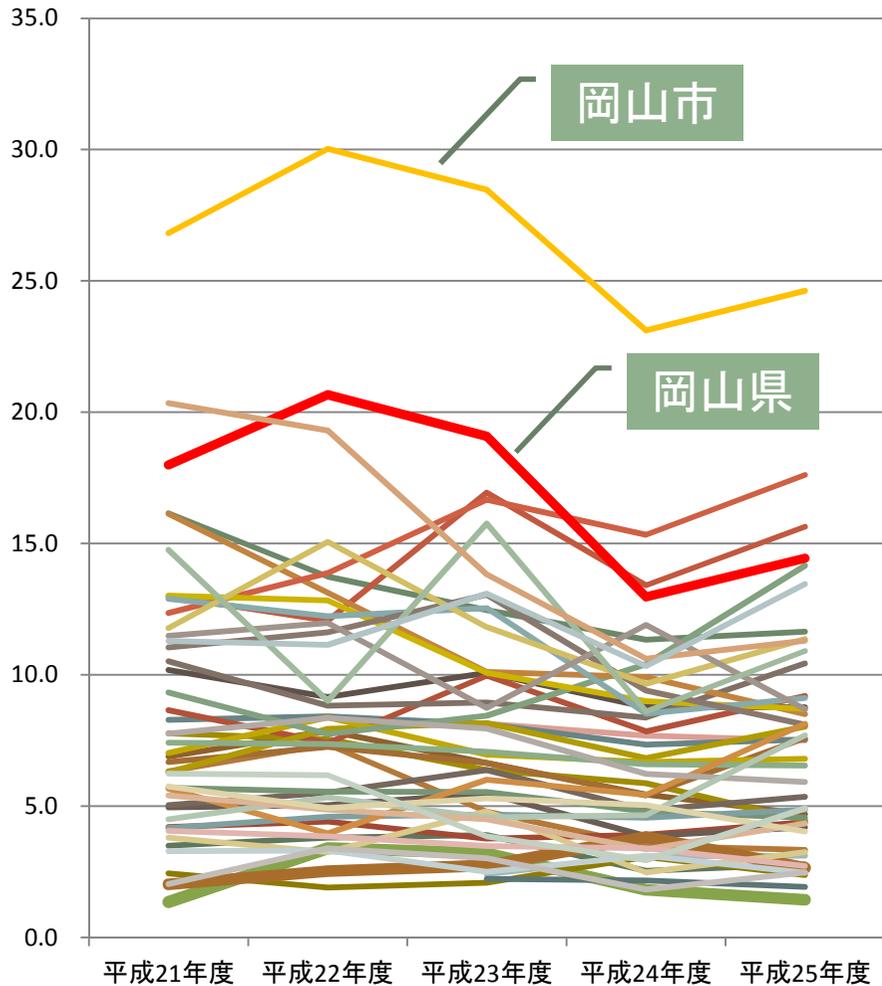
大学入学希望者学力評価テスト(仮称) 2020～	
目的	大学教育を受けるために必要な能力の測定(思考力・判断力・表現力を中心に評価)
内容	「教科型」に加えて、「合教科・科目型」「総合型」の問題を組み合わせ出題
形態	多肢選択方式だけでなく、記述式を導入 CBTの導入を検討 英語では民間の資格・検定試験を活用

各大学の個別学力試験＝アドミッションポリシーに基づく多元的評価			
大学入学希望者学力評価テストを活用 ＝思考力・判断力・表現力等も含む学力を評価	調査書, 活動報告書, 面接等を活用 ＝大学教育水準の学力を確保	自分の考えに基づき論を記述させるetc ＝主体性・多様性・協同性等を含む学力を高水準で評価	特定分野に卓越した者の選抜

問題行動と 学校の取り組み

小中高校生の暴力行為

岡山県の児童・生徒1万人当たりの病院で治療を受けた暴力行為の発生件数(小中高生)は減少傾向にあるが、全国的には高い位置にあり、岡山市はさらに高い。

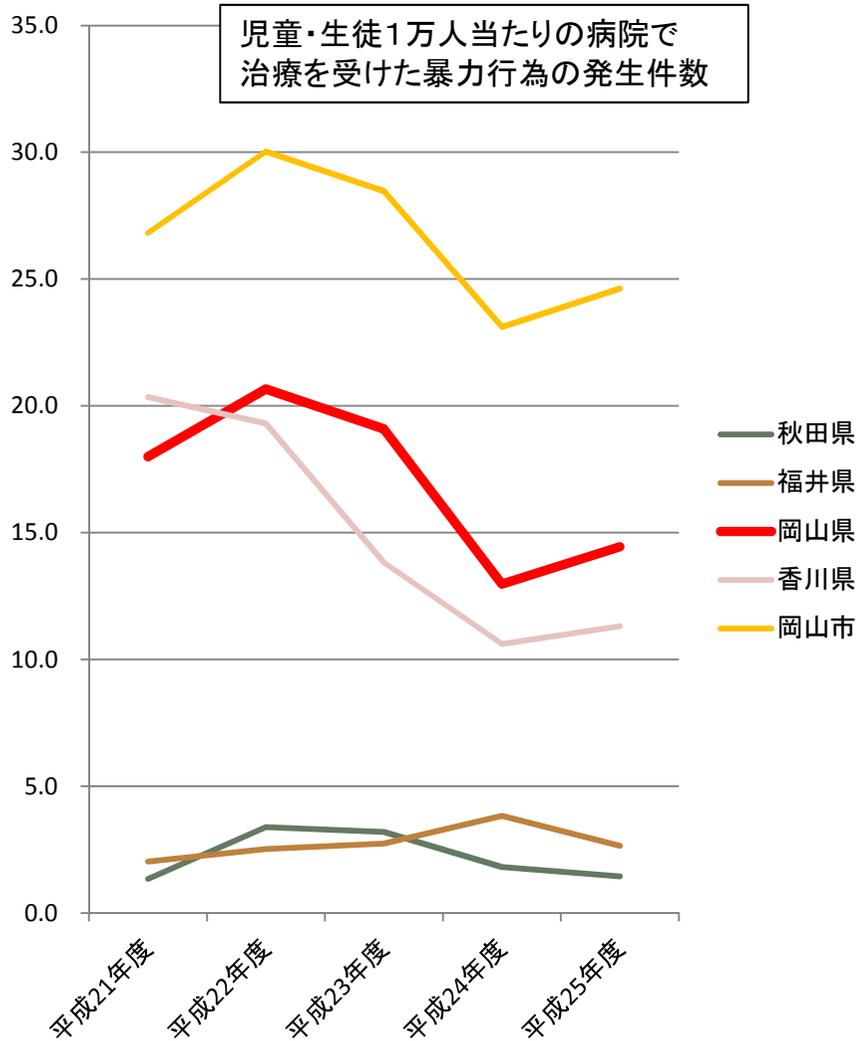


同様の指標で見ると、中学生に大きな課題があることがわかる。小学校は増加傾向に入る恐れあり。

	病院治療件数					H25 1万人当 たりの発 生件数
	H21	H22	H23	H24	H25	
岡山市小学生	28	32	31	27	36	9.0
岡山市中学生	139	154	144	114	113	54.9
その他	237	272	246	144	168	10.6
県全体	404	458	421	285	317	14.4

「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
(文部科学省)より作図

岡山県よりも大きく低減させている県をモデルとして事例を研究

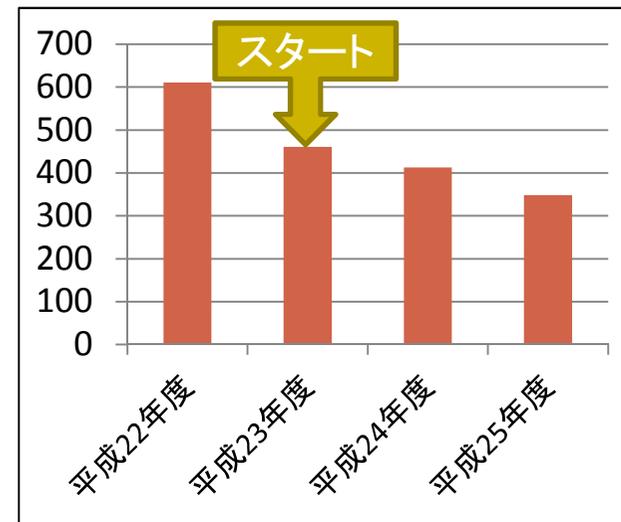


「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」(文部科学省)

香川県の取り組み例

- 「かがわ青少年育成支援ビジョン」策定
 - スクールソーシャルワーカーの拡充
 - 「かがわマナーアップリーダーズ」(公募により登録した中学生による、「あいさつ運動」「クリーン作戦」「非行防止キャンペーン」などの活動)
- 主体: 児童生徒健全育成等連絡協議会
(香川県 県教育委員会 県警察本部 香川大学)
事務局: 県警察本部少年課

香川県中学生の検挙・補導状況



「かがわマナーアップリーダーズ通信 平成26年7月 第43号」より

問題行動の低減のために②

香川県において低減の度合いと相関が高い学校での取り組み(全国学力学習状況調査 中学校学校質問紙)を見ると、「地域との関わり」「校長の授業観察」「学習規律」「教職員間の協力」が上位に。「因果」関係ではないが、**ありがたい学校像**としてとらえたい。

質問事項		H21	H22	H24	H25	相関係数	H26
(75)PTAや地域の人 が 学校の諸活動(学校の美化など)にボランティアとして参加してくれますか	香川県	32.9	34.6	47.9	44.4	-0.9899	39.7
	岡山県	38.6	48.9	46.2	50.9		51.5
	岡山市						57.9
(71)調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 地域の人材 を外部講師として招聘した授業を行いましたか	香川県	9.2	9.2	15.7	13.9	-0.9825	13.2
	岡山県	12	11.8	13.7	16.6		6.1
	岡山市						5.3
(72)調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 ボランティア 等による授業サポート(補助)を行いましたか	香川県	0	1.8	4.2	2.8	-0.8975	1.5
	岡山県	2.4	3.2	5.4	8.6		6.1
	岡山市						5.3
(99) 校長 は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	香川県	44.7	41.7	48.2	55.6	-0.7904	58.8
	岡山県	10.8	14.9	14.4	44.2		34.4
	岡山市						50.0
(74)職場見学や 職場体験 活動を行っていますか	香川県	97.4	96.4	98.2	100	-0.7816	100
	岡山県	98.2	98.9	100	99.4		99.4
	岡山市						100
(35)調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 学習規律 (私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話す、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	香川県	53.9	52.9	55.1	54.2	-0.7771	64.7
	岡山県	47.6	51.1	53.9	55.2		51.5
	岡山市						55.3
(91)学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、 教職員同士が協力 し合っていますか	香川県	28.9	29.2	39.3	30.6	-0.7300	44.1
	岡山県	22.9	34	28.3	23.9		38.7
	岡山市						47.4
(96)学校の教育目標やその達成に向けた方策について、 全教職員の間で共有 し、取組に当たっていますか	香川県	32.9	45.6	52.5	44.4	-0.7250	41.2
	岡山県	34.3	42.7	36.3	44.8		46
	岡山市						50.0

学力向上のために

いずれの教科も全国平均正答率を下回るが、大きく下回っている教科は見受けられない。

	岡山市	全国	差
国語A合計	71.7	72.9	-1.2
話す・聞く能力	74.0	72.4	1.6
書く能力	72.4	72.2	0.2
読む能力	68.4	68.5	-0.1
言語についての知識・理解・技能	72.0	73.7	-1.7
国語B合計	55.1	55.5	-0.4
国語への関心・意欲・態度	32.8	34.4	-1.6
話す・聞く能力	51.8	51.2	0.6
書く能力	32.8	34.4	-1.6
読む能力	56.5	57.3	-0.8
言語についての知識・理解・技能	69.3	69.8	-0.5

	岡山市	全国	差
算数A合計	77.7	78.1	-0.4
数量や図形についての技能	88.1	87.9	0.2
数量や図形についての知識・理解	68.4	69.5	-1.1
算数B合計	58.1	58.2	-0.1
数学的な考え方	47.7	47.8	-0.1
数量や図形についての技能	76.3	76.2	0.1
数量や図形についての知識・理解	54.3	54.8	-0.5

無解答率が全国を上回った設問数

国語A: 11 / 15

国語B: 9 / 10

算数A: 16 / 17

算数B: 13 / 13

「平成26年度全国学力・学習状況調査調査結果資料」(文部科学省)

いずれの教科も全国平均正答率を下回り、特に国語B、数学Bの下回りが大きくなっている。

	岡山市	全国	差
国語A合計	77.3	79.4	-2.1
話す・聞く能力	69.9	72.3	-2.4
書く能力	80.7	83.4	-2.7
読む能力	80.5	82.9	-2.4
言語についての知識・理解・技能	76.9	78.7	-1.8
国語B合計	46.7	51.0	-4.3
国語への関心・意欲・態度	34.1	41.0	-6.9
書く能力	34.1	41.0	-6.9
読む能力	44.8	49.2	-4.4
言語についての知識・理解・技能	50.9	56.8	-5.9

	岡山市	全国	差
数学A合計	65.6	67.4	-1.8
数学的な技能	67.4	68.2	-0.8
数量や図形などについての知識・理解	64.3	66.8	-2.5
数学B合計	55.2	59.8	-4.6
数学的な見方や考え方	53.4	57.9	-4.5
数量や図形などについての知識・理解	80.8	87.5	-6.7

無解答率が全国を上回った設問数
 国語A: 32 / 32
 国語B: 9 / 9
 数学A: 35 / 36
 数学B: 15 / 15

「平成26年度全国学力・学習状況調査
 調査結果資料」(文部科学省)

国語や算数・数学の問題に「最後まで解答を書こうと努力した」という項目が、すべての教科の成績との相関が高い。

全教科に共通して相関の高い項目

今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか
算数の授業の内容はよく分かりますか
調査問題の解答時間は十分でしたか(算数A)
調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)
5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか

※国語A, 国語B, 算数A, 算数Bすべてにおいて高い相関が見られた項目

国語に相関の高い項目

国語の授業の内容はよく分かりますか
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)
国語の授業で自分の考えを書きとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいますか
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
家で、学校の宿題をしていますか

※国語A, 国語Bにおいて高い相関が見られた項目

算数に相関の高い項目

算数の勉強は好きですか
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか
算数の勉強は大切だと思いますか
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

※算数A, 算数Bにおいて高い相関が見られた項目

全教科に共通して 相関の高い項目

今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたか、最後まで解答を書こうと努力しましたか
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたか、最後まで解答を書こうと努力しましたか
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごと内容に理解しながら読んでいますか
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか
家で、学校の宿題をしていますか
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか

※国語A, 国語B, 数学A, 数学Bすべてにおいて高い相関が見られた項目

国語に相関の 高い項目

国語の授業の内容はよく分かりますか
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか
読書は好きですか
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)

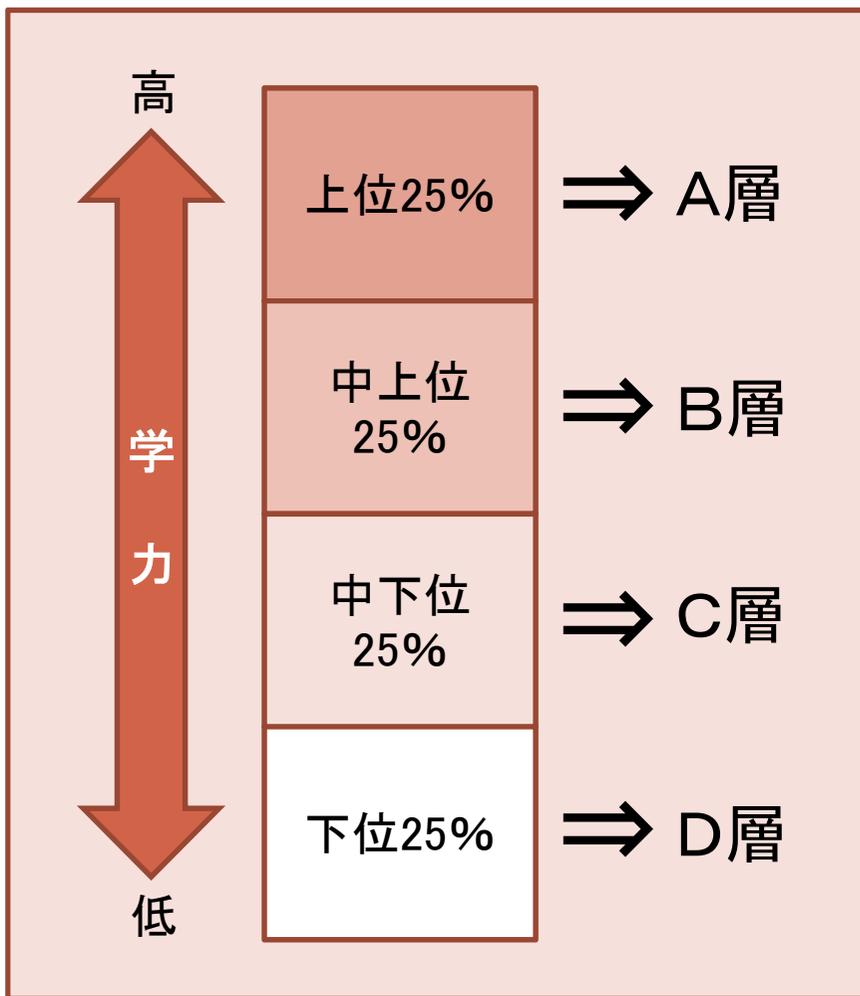
※国語A, 国語Bにおいて高い相関が見られた項目

数学に相関の 高い項目

数学の授業の内容はよく分かりますか
学校の規則を守っていますか
数学の勉強は好きですか
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか
調査問題の解答時間は十分でしたか(数学A)
朝食を毎日食べていますか

※数学A, 数学Bにおいて高い相関が見られた項目

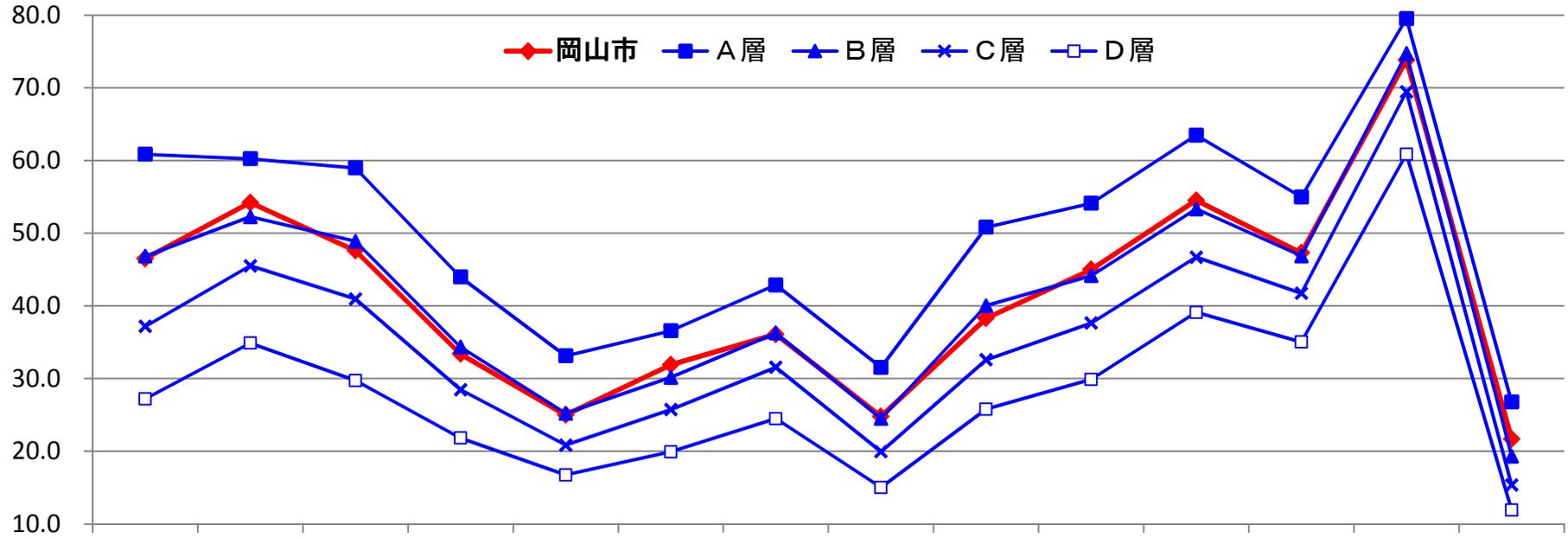
全国学力・学習状況調査の児童生徒を、正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行う。上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称する。正答数が同じ場合は、上位の層に含む。



次ページから、学力と**相関の高い児童生徒質問紙項目**について、A層からD層までの集計結果と、岡山市の集計結果の比較を行う。

学力と相関の高い児童生徒質問紙項目(小学校)

学力と相関の高い項目は、概ねB層(成績中上位層)と同様の傾向。



友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

算数の勉強は大切だと思いますか

算数の授業で問題が解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか

算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか

算数の勉強は好きですか

「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでい…国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめに「こと」に内容を理解しながら読んで…いますか

国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか

地域や社会で起っている問題や出来事に…関心がありますか

国語の授業の内容はよく分かりますか

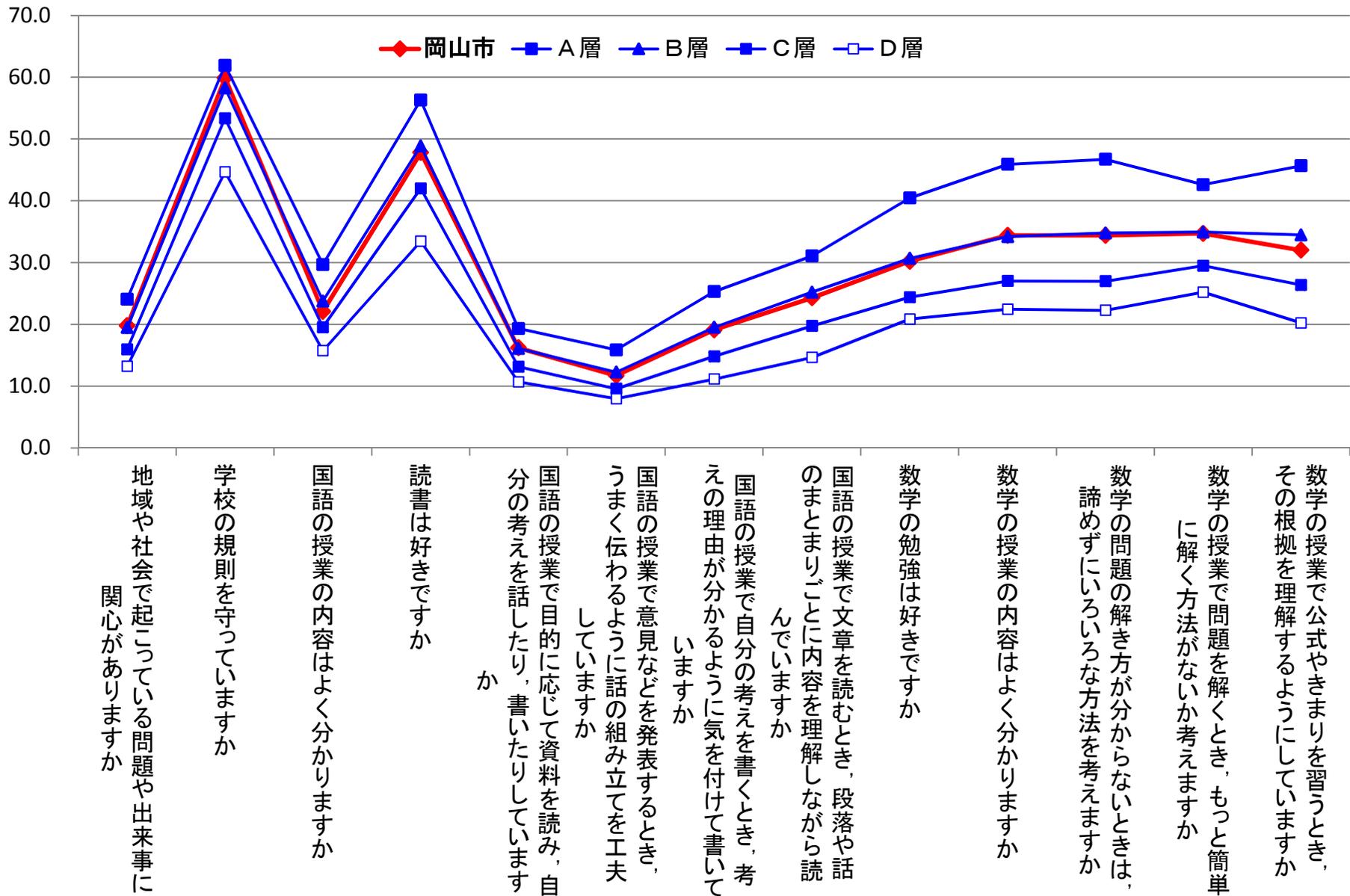
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか

5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いま…すか

算数の授業の内容はよく分かりますか

学力と相関の高い児童生徒質問紙項目(中学校)

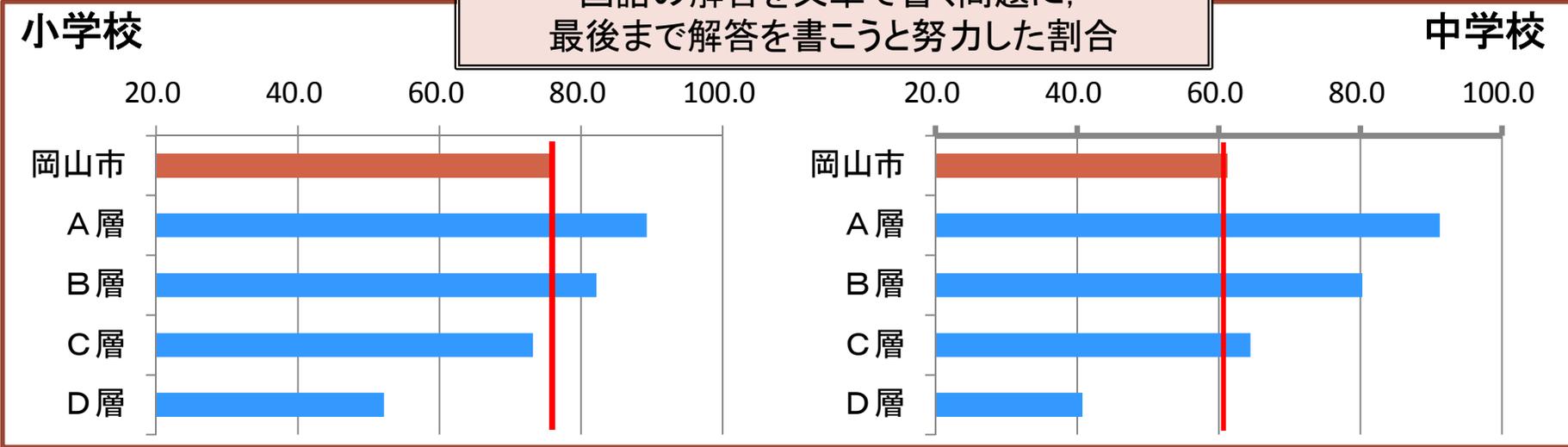
学力と相関の高い項目は、概ねB層(成績中上位層)と同様の傾向。



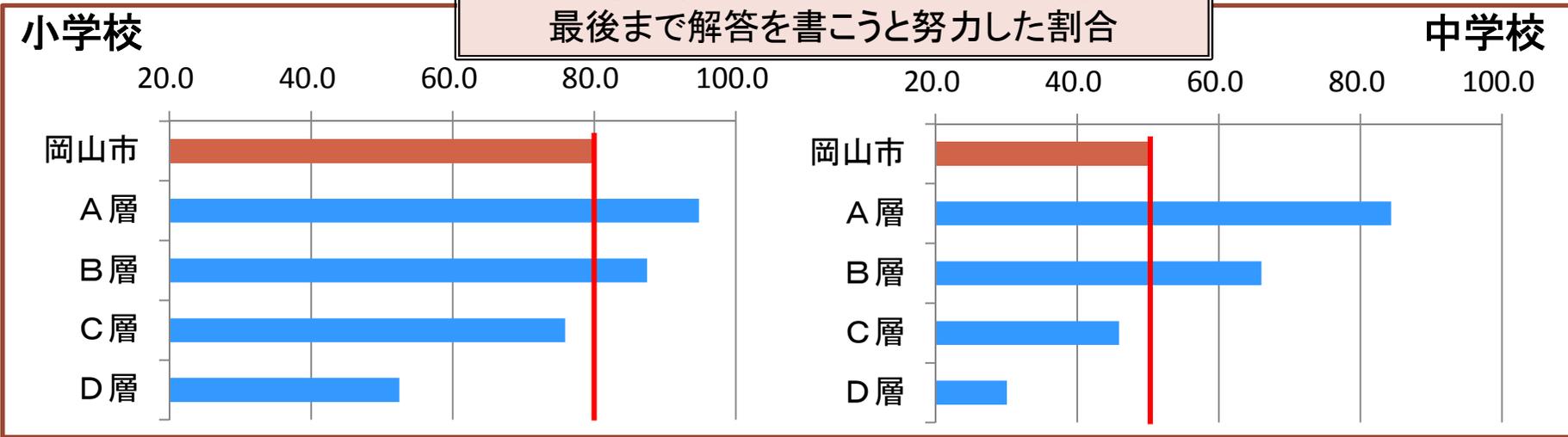
学力と相関の高い児童生徒質問紙項目

国語や算数・数学の問題に「最後まで解答を書こうと努力した」割合が、他の質問項目と比較して低い傾向に。特に中学校国語ではC層(成績中下位層)を下回る。

国語の解答を文章で書く問題に、最後まで解答を書こうと努力した割合



算数・数学の言葉や数、式で説明する問題に、最後まで解答を書こうと努力した割合



	岡山市が上回った項目	秋田県・福井県が上回った項目
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 学校図書館を利用した授業を行っている ◎算数の習熟の遅いグループへの少人数指導を行っている ◎講師を招聘した校内研修を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 職場見学や職場体験活動を行っている ◎ 学校外での研修に積極的に参加できるようにしている ◎全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている ◎ 言語活動について全教職員間で話し合ったり、検討している
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ◎数学の習熟の状況(遅いグループ、早いグループ)に応じた少人数指導を行っている ◎「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けている ◎講師を招聘した校内研修を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 礼儀正しく、授業中の私語が少なく、落ち着いている ◎全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている ◎ 言語活動について学校全体として取り組んでいる

秋田県・福井県と比較した岡山市の特徴

課題を与えている割合は高い。一方で、学習方法についての指導は、秋田県、福井県と比べると低くなっている。

	岡山市	秋田県	福井県
国語・算数数学の課題	与えている	—	与えた上で、課題に対する評価・指導まで行っている
全国調査の結果の活用	—	結果を分析し、指導改善や指導計画へ反映し、学校全体で活用	結果を分析し、指導改善や指導計画へ反映
学習方法の指導	—	学習方法を具体的に指導	ノートの取り方、テストの振り返り学習などを指導
保護者や地域の人との関係	学校の活動に参加 全国調査の結果をもとに取組について働きかけている	—	—

質問 番号	質問事項	差
(24)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、 学校図書館を活用した授業 を計画的に行いましたか	28.0
(80)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、 国語の指導として、家庭学習の課題(宿題) を与えましたか	22.9
(82)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、 算数の指導として、家庭学習の課題(宿題) を与えましたか	19.2
(91)	授業研究を伴う校内研修 を前年度に何回実施しましたか	18.4
(88)	学校でテーマを決め、 講師を招聘するなどの校内研修 を行っていますか	15.7
(55)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、第4学年のときに、 習熟の遅いグループに対して少人数による指導 を行い、習得できるようにしましたか	14.9
(53)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、 習熟の遅いグループに対して少人数による指導 を行い、習得できるようにしましたか	14.7
(46)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、算数の授業において、 コンピュータ等の情報通信技術 (パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す) を活用した授業 を行いましたか	13.8

質問番号	質問事項	差
(55)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、第1学年のときに、 習熟の遅いグループに対して少人数による指導 を行い、習得できるようにしましたか	24.5
(78)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 国語の指導として、家庭学習の課題(宿題) を与えましたか	22.9
(86)	学校でテーマを決め、 講師を招聘するなどの校内研修 を行っていますか	22.9
(56)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、第1学年のときに、 習熟の早いグループに対して少人数による指導 を行い、発展的な内容を扱いましたか	19.0
(23)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの 一斉読書の時間 を設けましたか	15.3
(76)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティア の仕組みにより、 保護者や地域の人 が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	13.9
(75)	PTAや地域の人 が学校の諸活動(学校の美化など)にボランティアとして参加してくれますか	13.5
(54)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、 習熟の早いグループに対して少人数による指導 を行い、発展的な内容を扱いましたか	13.2
(80)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 数学の指導として、家庭学習の課題(宿題) を与えましたか	13.0
(91)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、 教職員同士が協力 していますか	11.9
(53)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、 習熟の遅いグループに対して少人数による指導 を行い、習得できるようにしましたか	11.8

質問番号	質問事項	差
(76)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	-51.9
(101)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	-49.5
(47)	平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか	-48.1
(48)	平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	-46.0
(58)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	-44.7
(51)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	-42.8
(23)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	-39.5
(87)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/算数共通)	-36.2
(90)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	-33.3
(33)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	-32.6
(96)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	-32.3

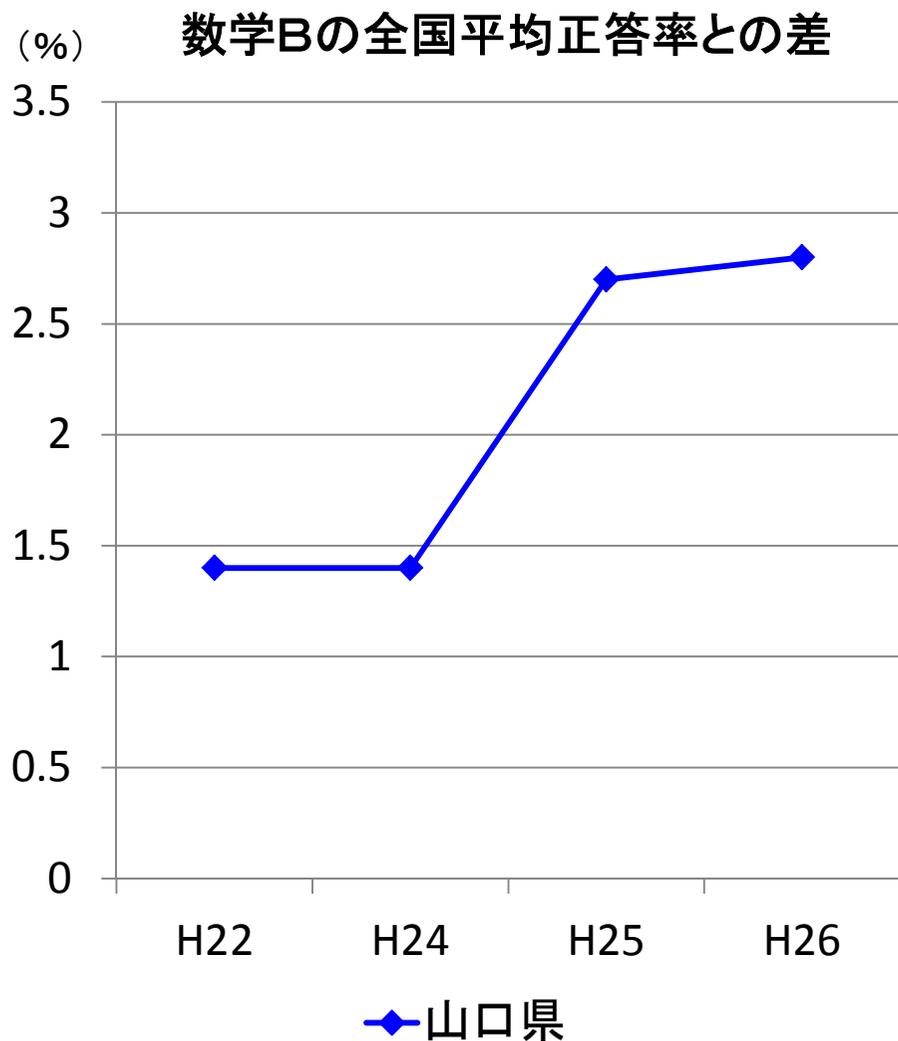
質問 番号	質問事項	差
(58)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、 チームティーチングによる指導 を行いましたか	-50.8
(95)	言語活動について 、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、 学校全体として 取り組んでいますか	-38.9
(17)	調査対象学年の生徒は、 礼儀正しい と思いますか	-37.0
(16)	調査対象学年の生徒は、授業中の 私語が少なく、落ち着いた と思いますか	-32.1
(47)	平成25年度全国学力・学習状況調査の 自校の結果を分析 し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか	-32.1
(85)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に 家庭での学習方法等を具体例 を挙げながら教えるようにしましたか(国語/数学共通)	-29.7
(51)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、 具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映 を行っていますか	-29.5
(88)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での 研修に積極的に参加 できるようにしていますか	-27.9
(32)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 発言や活動の時間を確保して授業を進め ましたか	-27.3
(36)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導 をしましたか	-26.1

質問 番号	質問事項	差
(29)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、 授業の最後に学習したことを振り返る活動 を計画的に取り入れましたか	32.0
(28)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動 を計画的に取り入れましたか	30.2
(24)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、 学校図書館を活用した授業 を計画的に行いましたか	28.3
(53)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、 習熟の遅いグループに対して少人数による指導 を行い、習得できるようにしましたか	23.5
(55)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、第4学年のときに、 習熟の遅いグループに対して少人数による指導 を行い、習得できるようにしましたか	22.6
(88)	学校でテーマを決め、 講師を招聘するなどの校内研修 を行っていますか	19.9
(56)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、第4学年のときに、 習熟の早いグループに対して少人数による指導 を行い、発展的な内容を扱いましたか	8.7
(54)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、 習熟の早いグループに対して少人数による指導 を行い、発展的な内容を扱いましたか	6.7

質問番号	質問事項	差
(55)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、第1学年のときに、 習熟の遅いグループに対して少人数による指導 を行い、習得できるようにしましたか	30.4
(56)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、第1学年のときに、 習熟の早いグループに対して少人数による指導 を行い、発展的な内容を扱いましたか	25.0
(54)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、 習熟の早いグループに対して少人数による指導 を行い、発展的な内容を扱いましたか	21.1
(28)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動 を計画的に取り入れましたか	20.9
(53)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、 習熟の遅いグループに対して少人数による指導 を行い、習得できるようにしましたか	19.9
(23)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの 一斉読書の時間 を設けましたか	16.4
(49)	平成25年度全国学力・学習状況調査の 自校の結果 について、 保護者や地域の人たちに対して公表や説明 を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	16.0
(86)	学校でテーマを決め、 講師を招聘するなどの校内研修 を行っていますか	13.9
(50)	平成25年度全国学力・学習状況調査や学校評価の 自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組 について、 保護者や地域の人たちに対して働きかけ を行いましたか	10.7
(29)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 授業の最後に学習したことを振り返る活動 を計画的に取り入れましたか	9.9

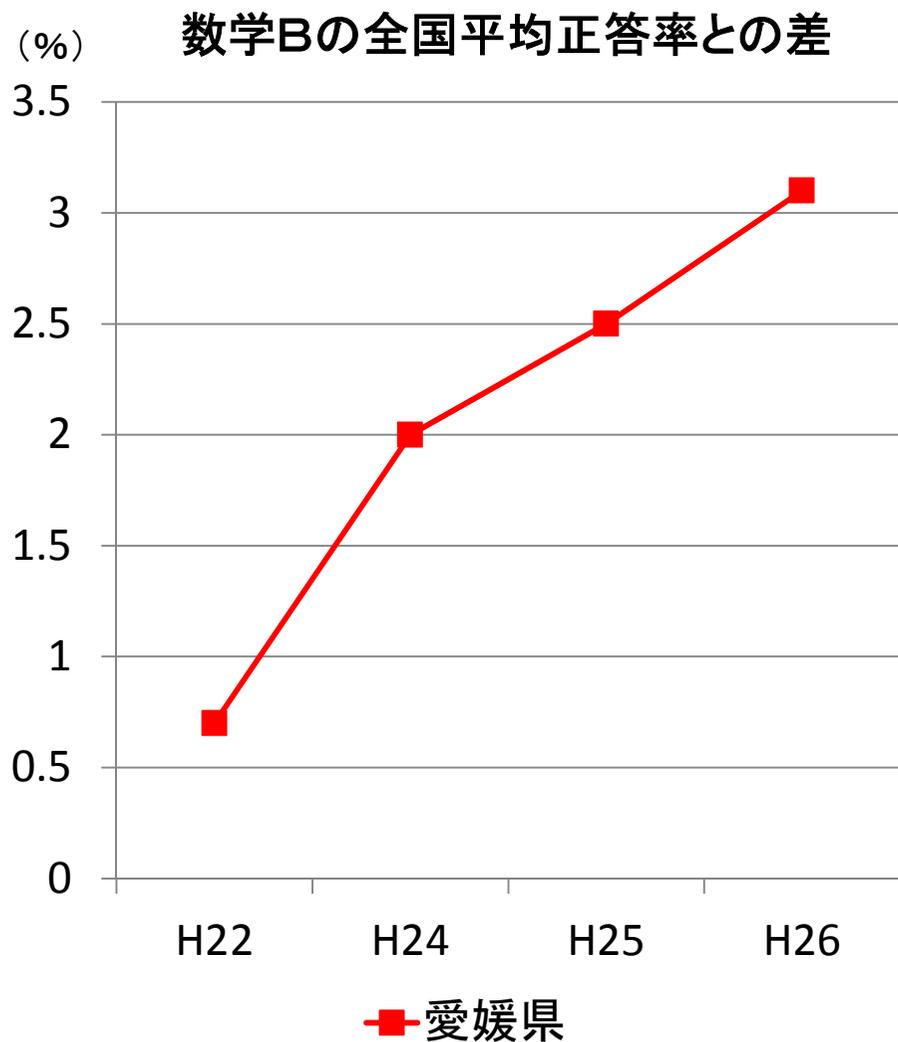
質問番号	質問事項	差
(90)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での 研修に積極的に参加 できるようにしていますか	-34.1
(51)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、 具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映 を行っていますか	-33.1
(76)	職場見学 や 職場体験活動 を行っていますか	-31.9
(97)	言語活動について 、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、 学校全体として 取り組んでいますか	-31.9
(92)	教職員は、校内外の 研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映 させていますか	-31.7
(93)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、 教職員同士が協力 していますか	-28.2
(81)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、 国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題 (長期休業期間中の課題を除く)について、 評価・指導 しましたか	-26.8
(83)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、 算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題 (長期休業期間中の課題を除く)について、 評価・指導 しましたか	-26.7
(101)	校長 は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	-24.7
(96)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、 全教職員の間で話し合ったり、検討 したりしていますか	-24.5
(23)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、「朝の読書」などの 一斉読書の時間 を設けましたか	-24.4

質問 番号	質問事項	差
(17)	調査対象学年の生徒は、 礼儀正しいと思いますか	-40.4
(95)	言語活動について 、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、 学校全体として 取り組んでいますか	-34.2
(33)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 将来就きたい仕事や夢 について考えさせる指導をしましたか	-34.0
(36)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導 をしましたか	-33.7
(79)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題 (長期休業期間中の課題を除く)について、 評価・指導 しましたか	-33.5
(81)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題 (長期休業期間中の課題を除く)について、 評価・指導 しましたか	-32.1
(78)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、 国語の指導として、家庭学習の課題(宿題) を与えましたか	-30.4
(96)	学校の 教育目標やその達成 に向けた方策について、 全教職員の間で共有し 、取組に当たっていますか	-28.2
(16)	調査対象学年の生徒は、授業中の 私語が少なく、落ち着いている と思いますか	-27.4
(51)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、 具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映 を行っていますか	-26.5



【山口県の取組】

- (1) 学習支援プログラム(Web)での問題提供
教員が授業で活用・保護者が家庭教育で活用
<https://shien.ysn21.jp/gakushi/>
- (2) 学力定着状況確認問題の実施
小学校3年～6年 中学校1・2年 で実施
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/kakunin/top.html>
- (3) やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会
平成24年度設置
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/zen-gaku/20130122001.html>
- (4) 小中学校の全学年での35人学級化の実現
平成23年度より
- (5) 高校入試の問題において、通常の学力検査に加えて、全国学力・学習状況調査のB問題を意識したような「思考・判断・表現」に重点を置いた検査問題(国語・数学・英語各20分)を希望する学校において実施。
(平成25年度入試(平成25年3月実施)より)
- (6) 全国学力・学習状況調査実施直後に、各学校で採点を行い、県が提供する集計ツールで集計し、結果を分析。



【愛媛県の取組】

「愛媛県学力向上5か年計画」の策定

http://ehime-c.esnet.ed.jp/gimu/src/09documents/12gakuryoku_plan.pdf

(1) 組織力の強化

- ◎ 学力向上推進主任の設置
- ◎ 学力向上に関する研修会やフォーラム等の実施
- ◎ 学校の教育力向上推進委員会(仮称)の設置

(2) 授業力の強化

- ◎ 目標・指導・評価が一体となった授業の実施
- ◎ 読み物教材の作成
- ◎ 授業のエキスパート養成事業の実施

(3) 省察力の向上

- ◎ 愛媛県学力診断調査の実施
- ◎ 定着度確認テストの実施
- ◎ 学校評価の改善・充実

教員の負担の実態

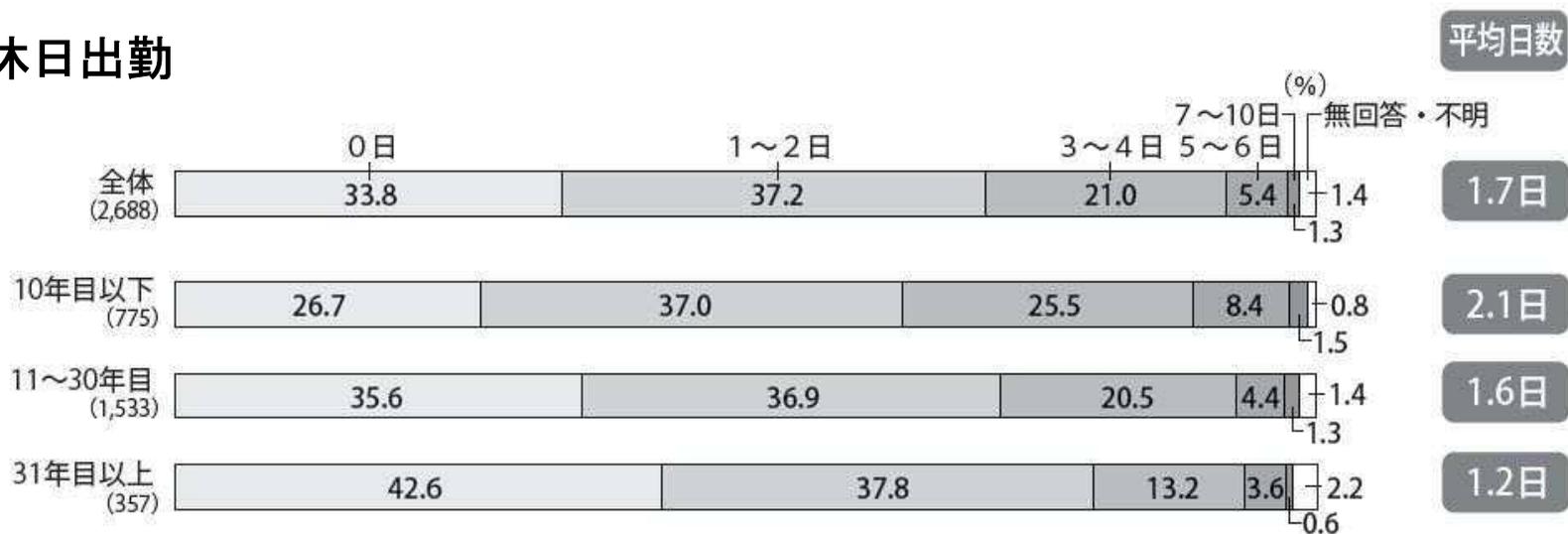
退勤時刻は遅くなる傾向。休日出勤の平均は1.7日。

「学習指導基本調査」(平成22年 弊社)

出勤・退勤時間等



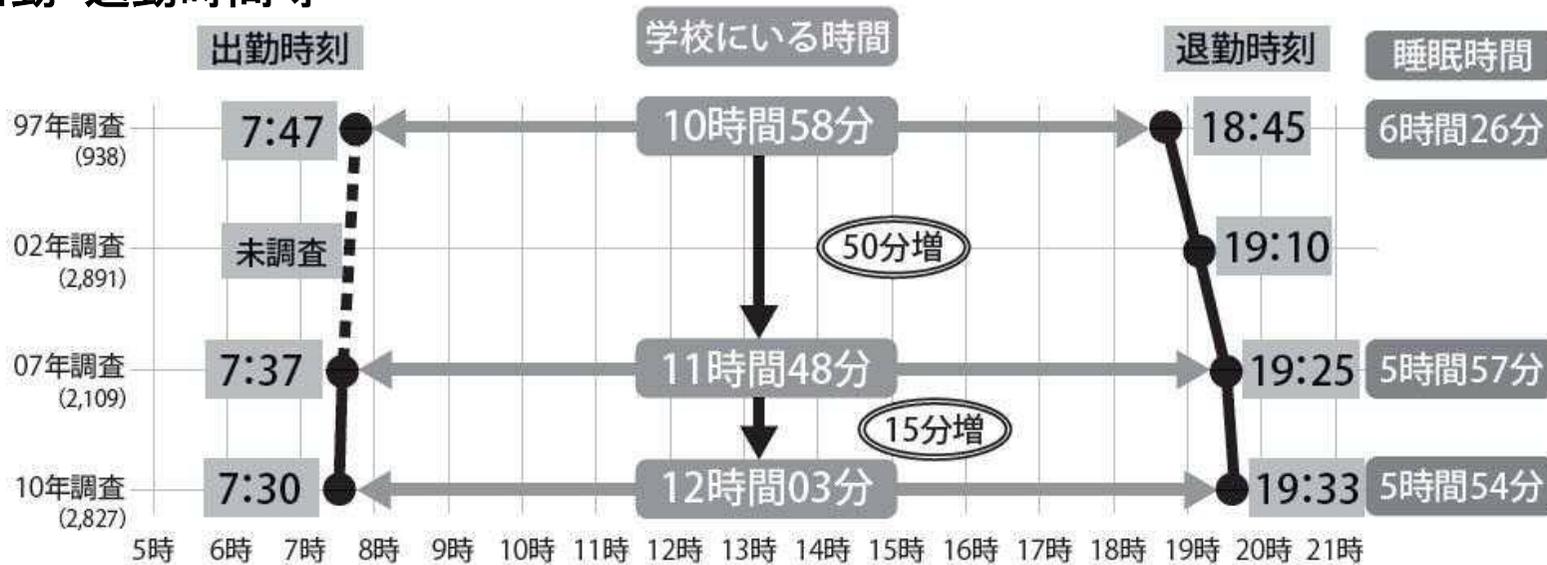
休日出勤



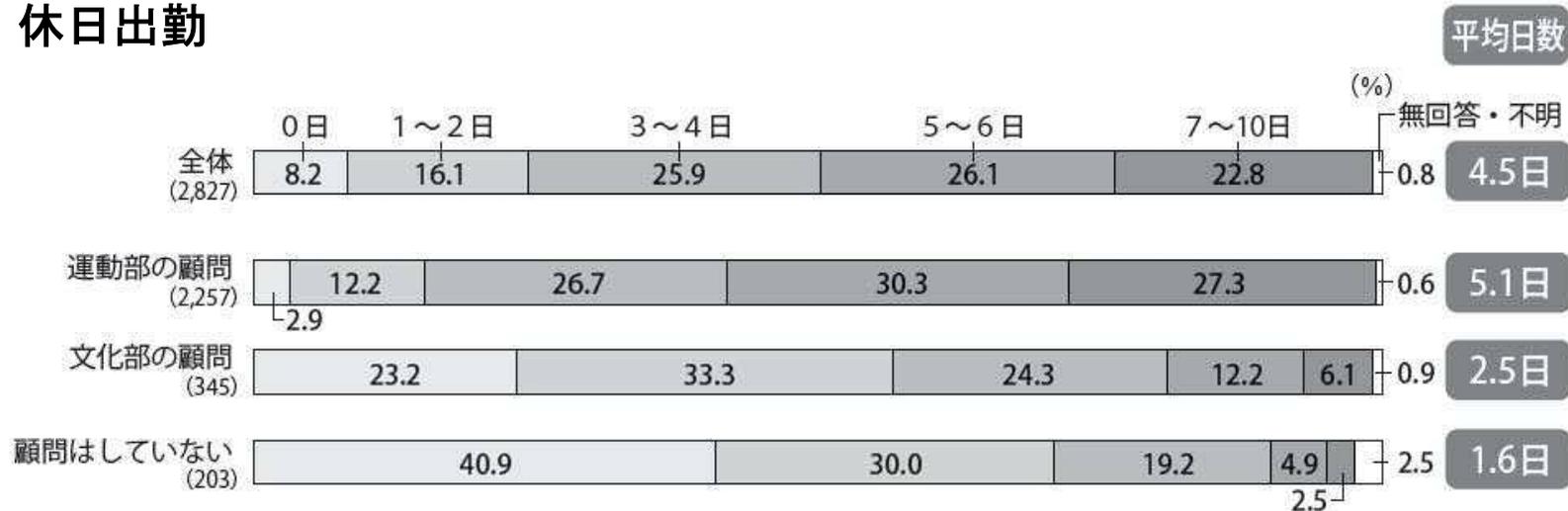
退勤時刻は遅くなる傾向。休日出勤の平均は4.5日。

出勤・退勤時間等

「学習指導基本調査」(平成22年 弊社)

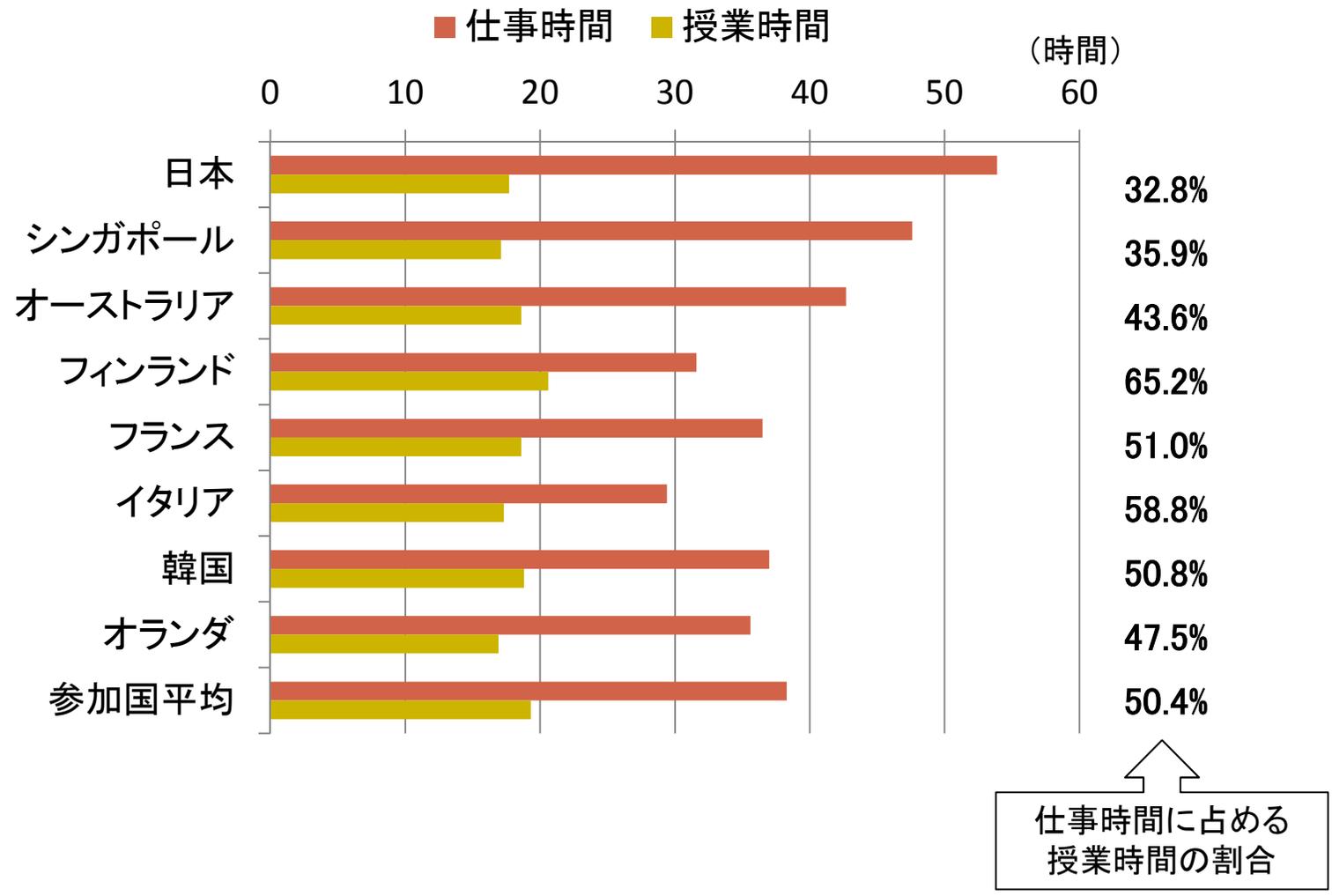


休日出勤



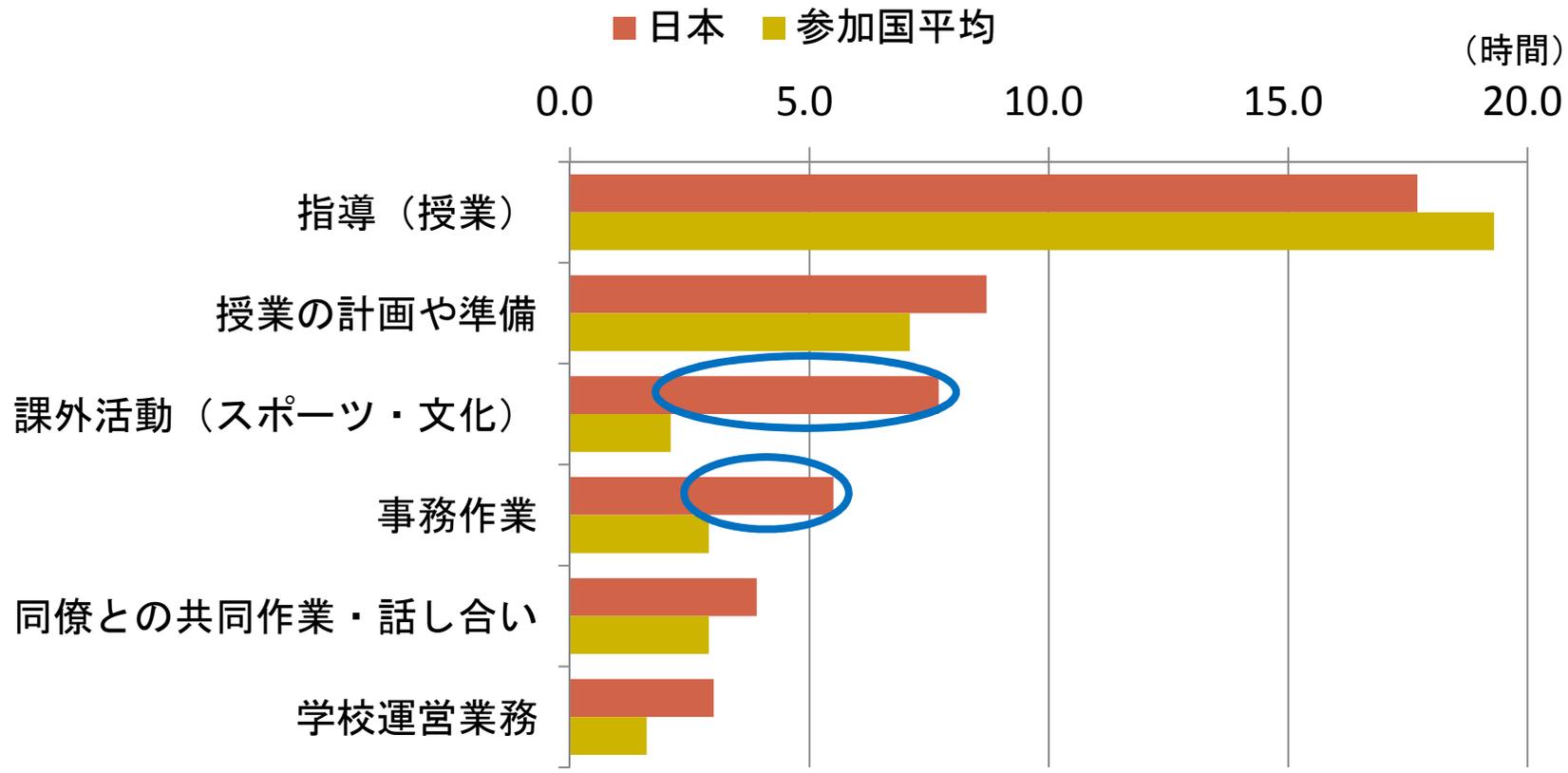
教員の仕事時間(国際比較)

参加国中、仕事時間は最も長い。一方で、授業時間は他国と大きな違いはない。



「OECD国際教員指導環境調査(TALIS) 2013年調査結果報告書」
(平成26年 国立教育政策研究所)

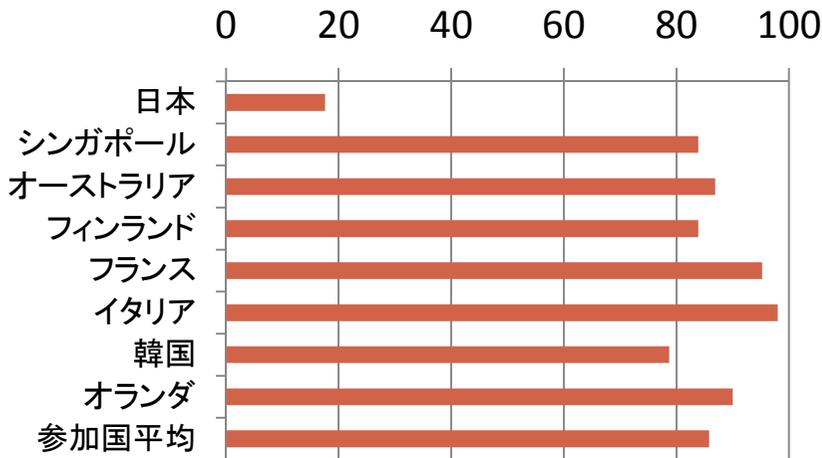
参加国平均と比較すると、「課外活動」、「事務作業」に係る時間が長く、合わせて8.2時間参加国平均を上回る。



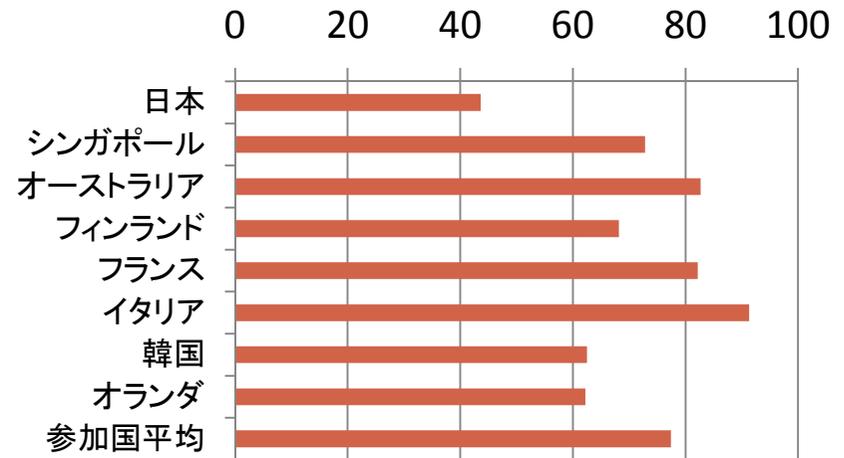
教員の自己効力感(国際比較)

参加国と比較すると、自己効力感を持つ教員の割合が低い。
他国に比べ謙虚な自己評価を下している可能性、指導において高い水準を目指している可能性等が考えられる。

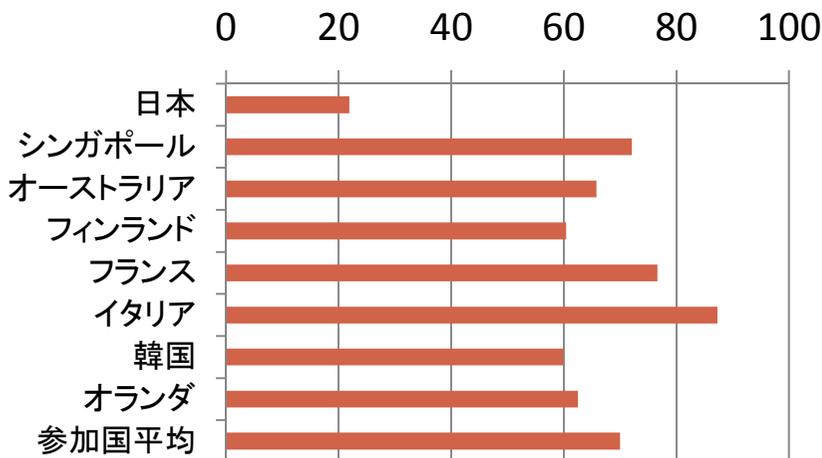
生徒に勉強ができると自信を持たせる



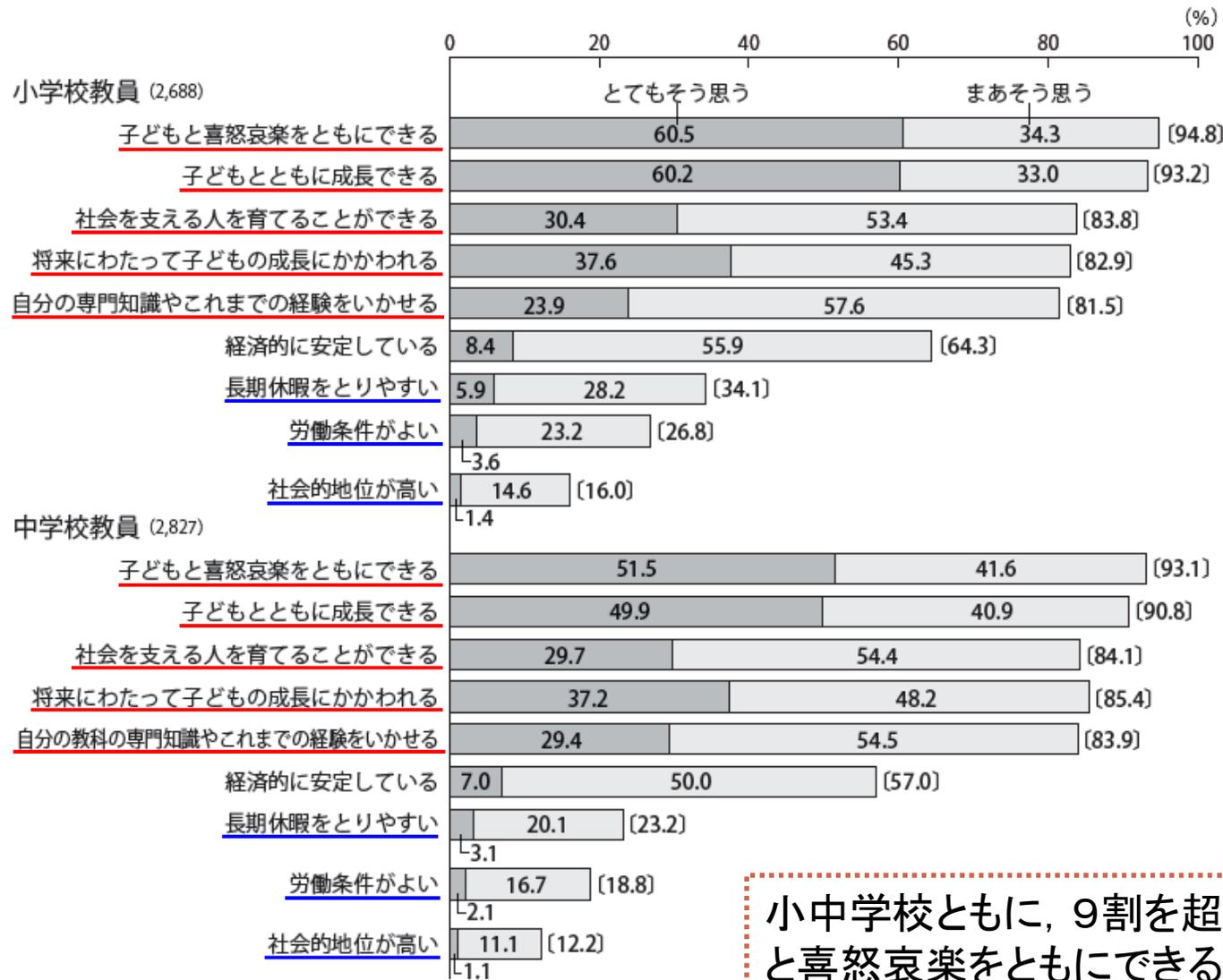
様々な指導方法を用いて授業を行う



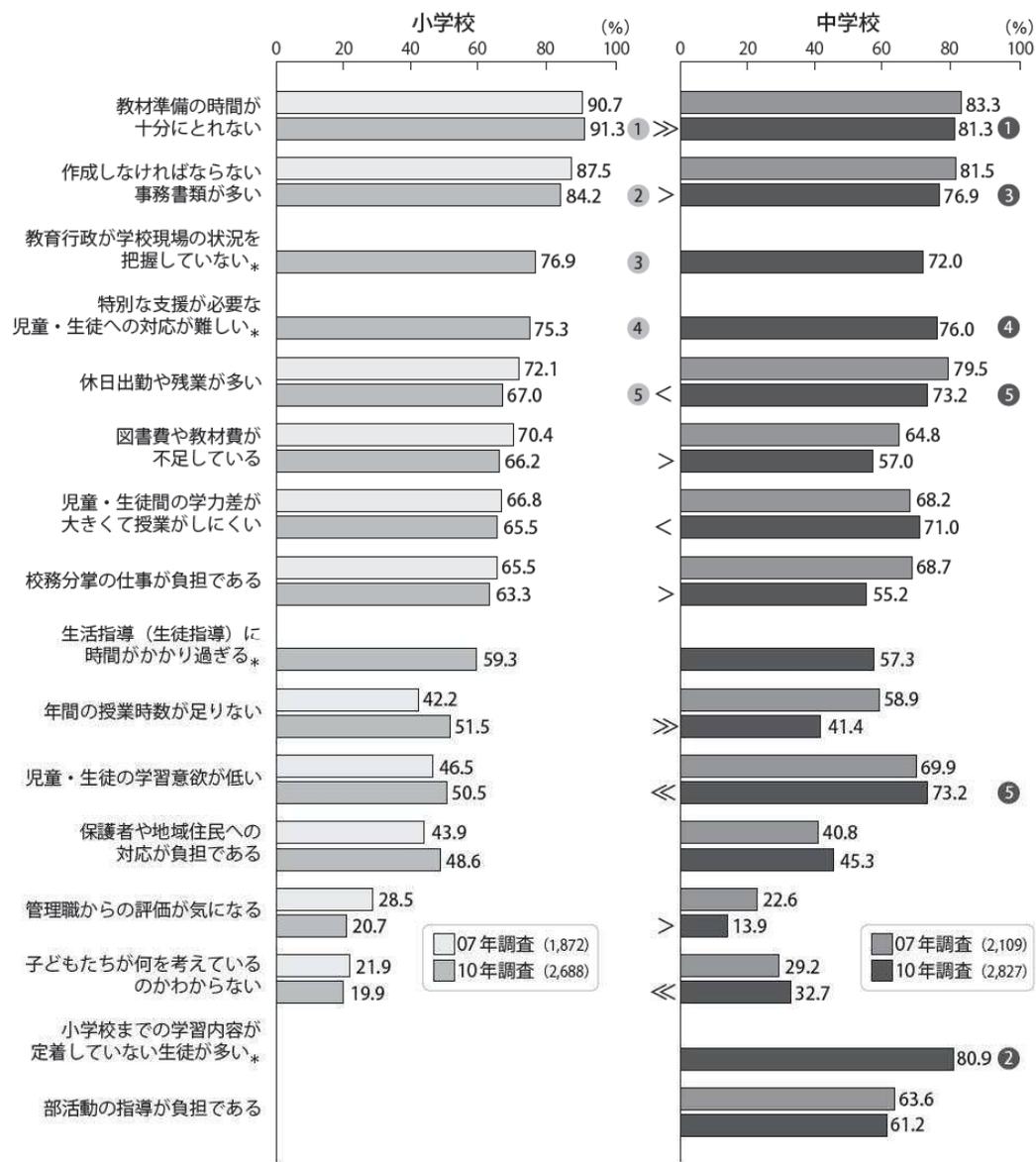
勉強に関心のない生徒に動機づけをする



「あなたの指導において、以下のことは、どの程度できていますか」という質問に対し、それぞれの項目について「非常に良くできている」「かなりできている」と回答した教員の割合。



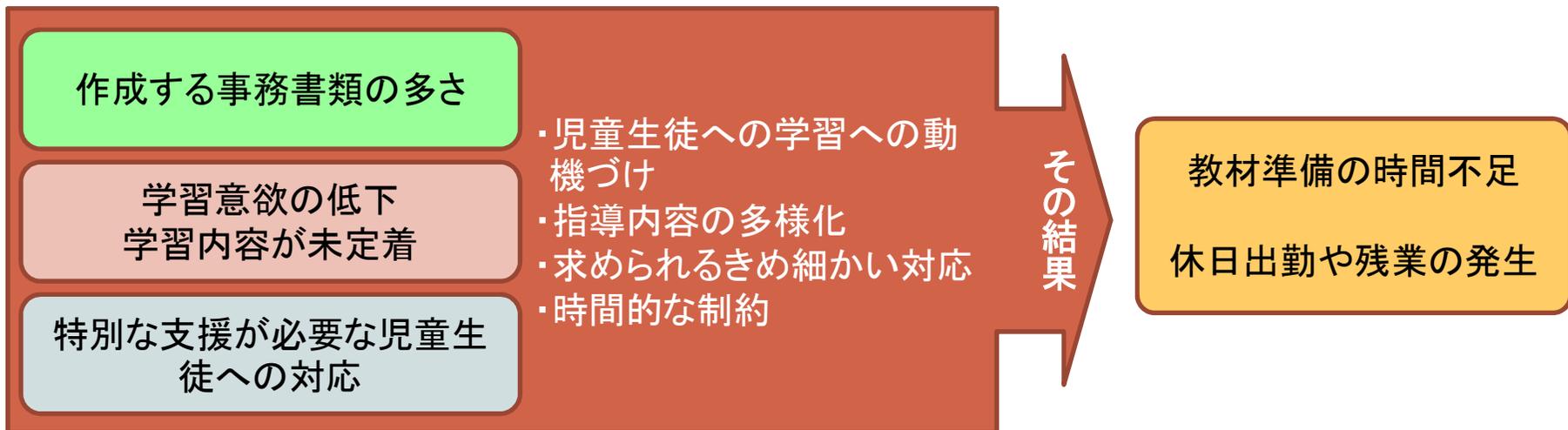
小中学校ともに、9割を超える教員が「子どもと喜怒哀楽をともにできる」「子どもとともに成長できる」ことを魅力に感じる一方、「労働条件」「社会的地位」を肯定する割合は低い。



小中学校ともに「授業準備」についての悩みが最も多い。「事務書類」「休日出勤や残業」についての悩みも多いが、割合は減少傾向にある。また、中学校では「学習意欲」「学習内容未定着」の悩みが多い。

注1) 「とてもそう思う」+「まあそう思う」の%。
 注2) *印は、10年調査より新たに追加した項目。
 注3) 小・中学校のそれぞれ上位5位までを①～⑤、①～⑤と表示している。
 注4) <>は10年調査の小学校教員と中学校教員の数値に5ポイント以上、<<>>は10ポイント以上差があるもの。

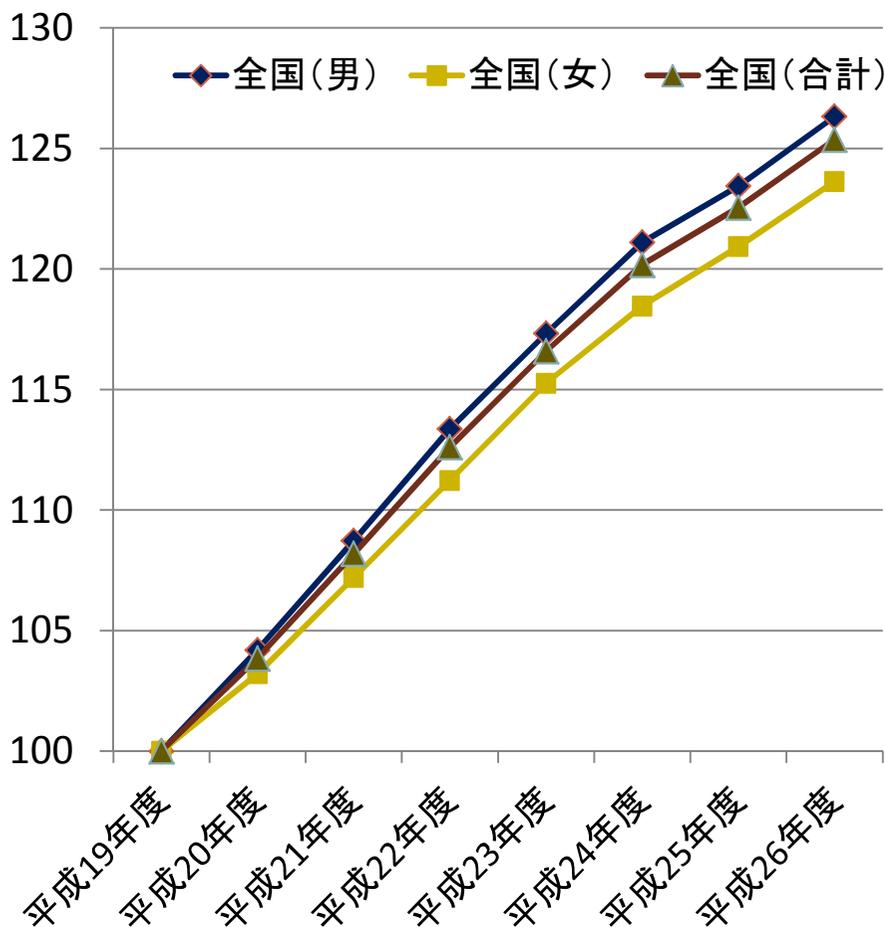
	小学校	中学校
1位	教材準備の時間が十分にとれない	教材準備の時間が十分にとれない
2位	作成しなければならない事務書類が多い	小学校までの学習内容が定着していない生徒が多い
3位	教育行政が学校現場の状況を把握していない	作成しなければならない事務書類が多い
4位	特別な支援が必要な児童生徒への対応が難しい	特別な支援が必要な児童生徒への対応が難しい
5位	休日出勤や残業が多い	休日出勤や残業が多い
		児童生徒の学習意欲が低い



特別支援学校, 学級ともに在席する児童生徒数は年々増加。岡山県の特別支援学級に在籍する児童生徒の増加の割合は全国より高い。

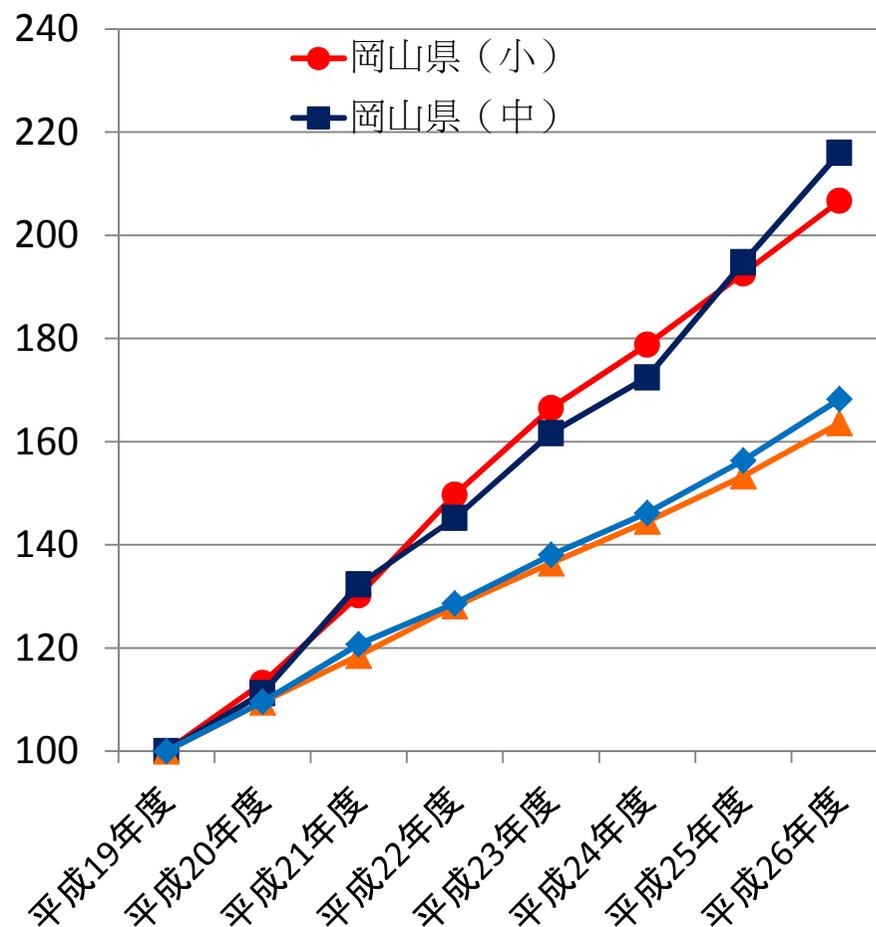
特別支援学校に在籍する児童生徒

(平成19年度を100としたときの割合)



特別支援学級に在籍する児童生徒

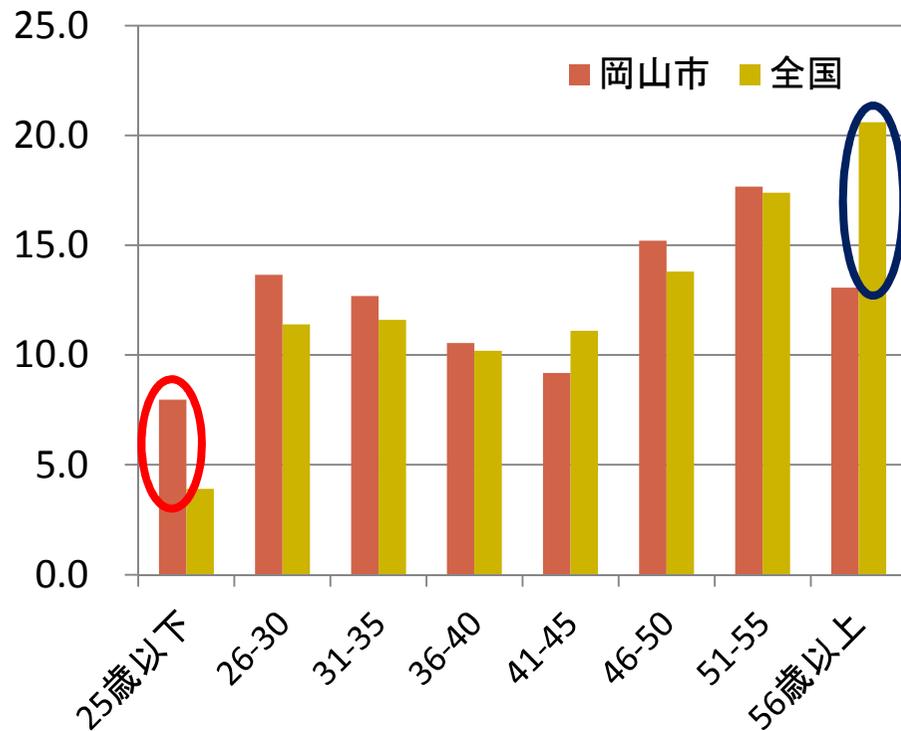
(平成19年度を100としたときの割合)



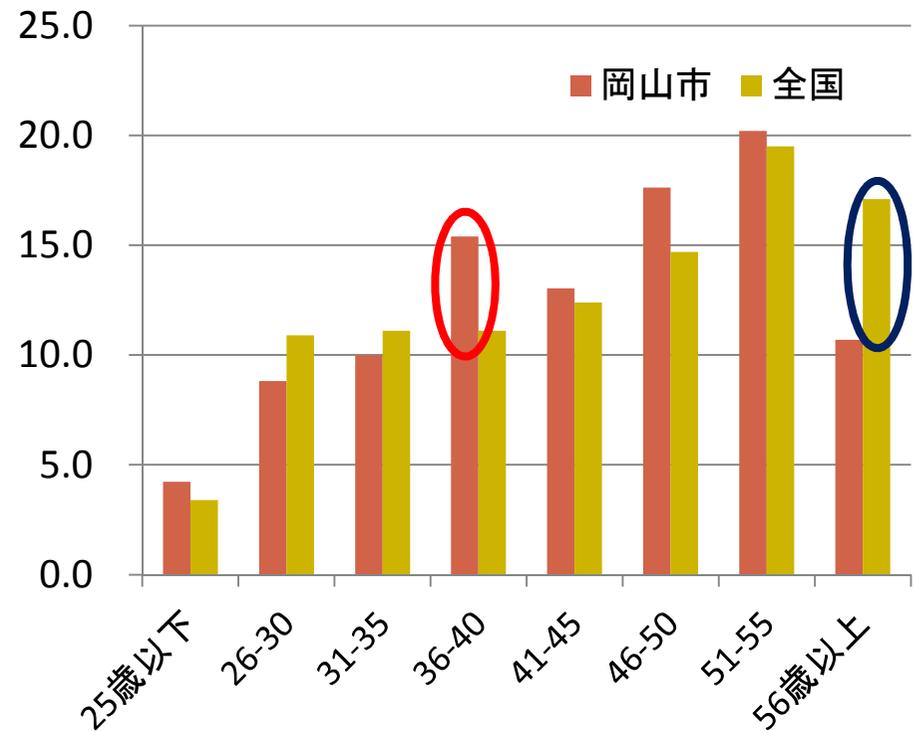
教員の年齢構成

小学校では、全国と比較して25歳以下の教員割合が高く、研修等の充実が重要と考えられる。

【小学校】



【中学校】



教員における講師比率と学力との関係

講師比率と全国学力調査の順位との関係では、順位が31位以降の都道府県が多く、中学校では特に顕著である。

<小学校>

都道府県	講師比率	国語A順位	国語B順位	算数A順位	算数B順位
奈良	14.0%	25	40	20	26
大阪	13.1%	41	45	35	40
三重	13.0%	46	46	44	41
長野	12.9%	28	16	17	11
京都	11.9%	23	18	9	8
福岡	11.9%	32	36	31	30
兵庫	11.8%	26	29	31	19
岡山	10.2%	38	32	29	38
宮崎	10.0%	16	38	27	42
大分	9.9%	18	13	10	19
岡山市	9.8%				

<中学校>

都道府県	講師比率	国語A順位	国語B順位	算数A順位	算数B順位
三重	16.0%	41	40	25	33
大阪	15.7%	46	46	42	40
岡山市	15.3%				
福岡	14.6%	37	37	38	36
和歌山	14.5%	44	45	37	41
岡山	13.9%	39	43	41	45
大分	13.7%	20	32	30	39
奈良	13.5%	34	29	14	16
宮崎	13.0%	37	32	16	22
佐賀	12.6%	41	41	45	43
鳥取	12.5%	23	26	22	24

※31位以降の都道府県に網掛け

「平成26年度学校基本調査」(文部科学省)
 「平成26年度全国学力・学習状況調査
 調査結果資料」(文部科学省)
 岡山市提供データ